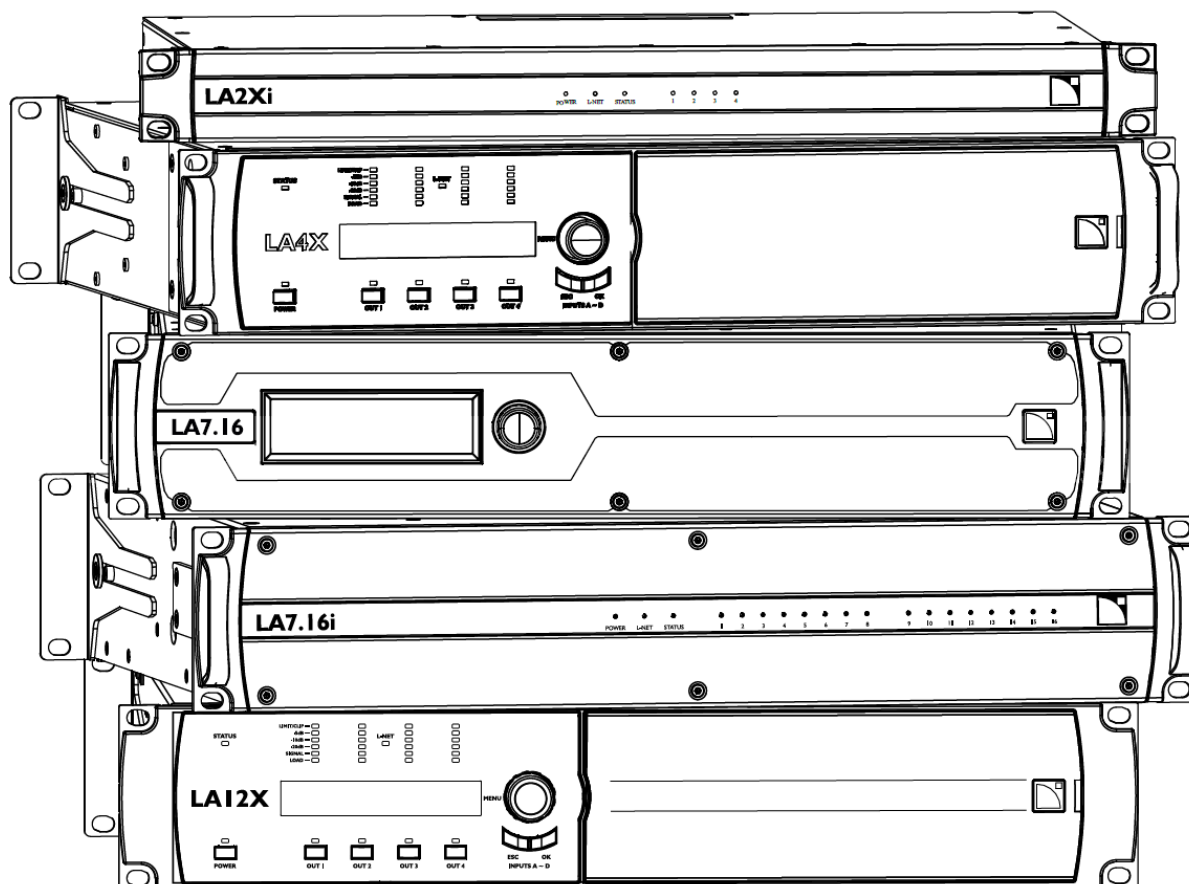


プリセットガイド



オーナーズマニュアル（日本語）



ドキュメント参照：プリセットライブラリプリセットガイド(JP) バージョン 23.0

配布日：2024 年 2 月 6 日

© 2024 L-Acoustics. 無断転載を禁じます。

本書のいかなる部分も、発行者の書面による明示的な同意なしに、いかなる形式または手段によっても、複製または転送することを禁じます。

目次

はじめに	5
改定履歴	6
プリセット デザイン	8
L2/L2D 低域ポーラパターン	9
標準、カーディオイド C、カーディオイド CX 構成	9
オンボードプリセットライブラリー	10
LA2Xi プリセットライブラリー	10
LA4 プリセットライブラリー	14
LA4X プリセットライブラリー	18
LA8 プリセットライブラリー	23
LA12X プリセットライブラリー	31
LA7.16i レイアウトライブラリー	37
LA7.16 レイアウトライブラリー	41
フラットプリセット	45
プログレッシブ超高密度ラインソース プリセット	46
L2 / L2D	46
可変曲率 WST システム プリセット	48
K1	48
K2	50
K3	52
Kara II	54
Kara	56
Kiva II	57
Kiva SB15m	58
Kiva Kilo	59
Kudo	61
V-DOSC	62
dV-DOSC	64
定曲率 WST システム プリセット	66
ARCS Wide / ARCS Focus	66
A10 Wide/Focus	67
A15 Wide/Focus	69
ARCS II	71
ARCS	72

コリニアソースシステム プリセット	73
Syva.....	73
SOAK.....	74
同軸スピーカーエンクロージャー プリセット.....	75
X4i	75
5XT	77
X6i	78
X8	79
X8i	80
X12	81
X15 HiQ	82
8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP.....	83
12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA.....	84
サブウーハーエンクロージャー プリセット.....	85
オプションサブウーハー互換	85
ブリアライメントディレイ値	88
プログレッシブ ウルトラードレンス ラインソース.....	89
可変曲率 WST システム	89
定曲率 WST システム	102
コリニアシステム	105
同軸スピーカーエンクロージャー	105
負荷インピーダンス	114
アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力	115
LA4 / LA8 のエンクロージャードライブ能力	117

始めに

L-Acoustics のアンプリファイドコントローラーはオンボードにファームウェアとプリセットライブラリーを搭載しています。

オンボードライブラリーのプリセットは、アンプリファイドコントローラーのフロントパネル、または L-Acoustics のアンプリファイドコントローラーのネットワークを介したリモートコントロールとモニタリングに特化した管理ツールである LA Network Manager ソフトウェアアプリケーションからロードできます。

LA Network Manager は、L-Acoustics アンブコントローラーのファームウェアのアップデートに必須です。ファームウェアには最新のプリセットライブラリーが自動的にインストールされます。ソフトウェア、ファームウェア、ライブラリーの最新バージョンは L-Acoustics のウェブサイトをご確認ください。



L-Acoustics アンプリファイドコントローラーの操作

LA2Xi、LA4、LA4X、LA7.16i、LA8、LA12X、LA-RAK、LA-RAK II、LA-RAK II AVB のユーザーマニュアルを参照してください。

LA Network Manager ソフトウェアのインストール

LA アンプリファイドコントローラーリリースパックをダウンロードし、**LA NWM installation** 技術解説書を参照してください。

L-Acoustics アンプリファイドコントローラーのファームウェアアップデート

ソフトウェアのヘルプメニューからアクセスできる LA Network Manager のヘルプを参照してください。

本書は LA2Xi、LA4、LA4X、LA8、LA12X のプリセットライブラリーおよび LA7.16(i)のエンクロージャーライブラリー、バージョン 7.10(.5)、について説明します。

記号

本書では以下の記号を使用しています。



この記号は、人に危害が及ぶ可能性があることや、製品が破損する可能性があることを示しています。
また、製品の安全な設置や操作を確保するために、厳密に守らなければならない指示をユーザーに通知しています。



この記号は、製品の適切なインストールまたは操作を確実に行うために厳守しなければならない指示をユーザーに通知します。



この記号は、補完的な情報やオプションの指示をユーザーに通知します。



許可がない限り開けないでください。
この記号は感電の危険があることを示しています。
また、エンドユーザーがメンテナンスを行う際に内部コンポーネントへのアクセスを必要としないことを示しています。

改定履歴

バージョン番号	公開日	変更点
1.0	2013-03	最初のバージョン
4.0	2013-12-02	- K2 システムを追加 - LA4X を追加
4.0a	2013-12-09	- K1 および K2 システムの情報更新 - エンクロージャードライブキャパビリティの更新 - Kudo の情報更新
4.0b	201-02	K1 および K2 システムの情報更新
4.2	2014-06	LA8 エンクロージャードライブキャパビリティ更新
5.1	2015-06	- LA4X エンベデッドプリセットライブラリーの情報更新 - サブウーハー デフォルト出力ルーティングの情報更新 - LA4 および LA8 エンクロージャードライブキャパビリティの更新
6.0	2015-10	X シリーズを追加
7.0	2016-02	KS28 を追加
7.1	2016-05	LA12X を追加
8.0/8.1	2016-10	- Kiva II システムを追加 - ヘッドルーム改善のための SB15m プリセット出力ゲイン変更の情報追加
9.0	2017-06	- Syva システムの追加 - LA8 エンクロージャードライブキャパビリティ情報の明確化
9.1	2017-09	Syva システムの情報更新
10.0	2018-10	[KARADOWNK2]の情報追加
10.1	2018-11	ヘッドルーム改善のためのサブウーハープリセット出力ゲイン変更の情報追加
11.0	2019-02	X4i を追加
12.0	2019-06	A15 Wide/Focus システムを追加
13.0	2019-10	- A15i Wide/Focus システムを追加 - A10i Wide/Focus システムを追加 - 拡張カーディオイドプリセットの情報追加
13.1	2019-12	LA4 エンクロージャードライブキャパビリティを別表に移動
14.0	2020-04	- Kara II システムを追加 - X シリーズ デフォルト出力ルーティング情報更新
15.0	2020-10	- LA2Xi を追加 - K3 システムを追加
16.0	2021-03	Kara IIi システムを追加
17.0	2021-07	K3i システムを追加
18.0	2022-02	- カーディオイド構成のサブウーハーと組み合わせた X シリーズ用のプリアライメントディレイを追加 [A10_10]、[A15_MO]、[5XT_MO]、[X4_MO]プリセットを追加 - SB10i を追加 - LA8 のエンクロージャードライブキャパビリティを別表に移動

バージョン番号	公開日	変更点
18.1	2022-04	オートフィルターモードでレイテンシーを延長する場合のプリアライメントディレイ値 (P.88) を更新
18.2	2022-05	[5XT_MO] + [SB15_100]のプリアライメントディレイ値を更新
19.0	2022-06	- エンクロージャードライブ能力に LA7.16i を追加 [X4_MO]と Syva Sub および SB10i のプリアライメント値を更新
P20.0	2022-11	- SB6i を追加 [X4_60]と[KARA II_MO]を追加 [A15_MO]と[X12_MO]のプリアライメントディレイを更新
21.0	2023-03	- SOKA を追加 [SB10_60]を追加 - LA7.16i レイアウトライブラリーを追加
21.1	2023-03	問題の修正と改善
22.0	2023-06	- LA7.16 レイアウトライブラリーとエンクロージャードライブキャパビリティを追加 - L2 / L2D システムを追加 [KARAIIDOWNxx70]と[KARAIIDOWNxx90]を追加
23.0	2024-02	- X8i と X6i を追加 [K3r1 xxx]プリセットを追加。K3 を参照。(p.52) - LA12X プリセットライブラリー (p.31) に[K528 L2_C] と [K528 L2Cx] を追加 - X8 と SB10i または Syva Sub のプリアライメントディレイを追加 - Kara II モニターと SB18 のプリアライメントディレイを追加 - L2 および L2D のプリアライメントディレイ値 (p.89) を更新。 Soundvision Autofilter アルゴリズムによって適用される拡張レイテンシーと更新版 L2/L2D プリセットを考慮。

プリセット デザイン

ゲインストラクチャー

L-Acoustics のすべてのファクトリープリセットのゲインは、音楽信号に類似したピンクノイズを基準信号としてキャリブレートされています。基準入力レベルはアナログ信号で **0 dBu**、デジタル信号で **-22 dBfs** です。

このレベルの信号を L-Acoustics アンプリファイドコントローラーに入力すると、L-Acoustics スピーカーエンクロージャーは 8 dB のヘッドルームをサウンドエンジニアに提供します。例外として小型スピーカーは 4 dB のヘッドルームにキャリブレートされています。(MTD108a、X4i、5XT、X8、8XT、KIVA、KILO、SB10i、SB6i、Soka)

このゲインストラクチャーにより、同じフォーマット（現場）で様々なタイプのエンクロージャーを使用するケースで L-Acoustics システムのパワーリソース管理が容易になります。デフォルトの出力ゲイン設定（0 dB）であれば、すべてのエンクロージャーが同じプログラムレベルでリミットをむかえます。小型フォーマットのエンクロージャーを大型フォーマットのエンクロージャーと一緒に使うケースでは、小型フォーマットエンクロージャーに -4 dB のゲイン調整を適用します。



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである[SB15_100]と[SB15_100_C]のヘッドルームは、プリセットライブラリー5.6(.5)から 8 dB に変更しました。[SB15_100_Cx]のヘッドルームは 8 dB です。ハイブリットプリセット[KIVA_SB15]および以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

8 dB ヘッドルームの提供を目的として、プリセットライブラリー6.0 にて、サブウーハープリセットのいくつかの出力ゲインを以前のバージョンから変更しました。

このアップデートでは、フルレンジスピーカーとサブウーハー間の L-DRIVE のアクティビティを、同じ基準のピンクノイズ信号でアラインしています。

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新した場合、同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

エレクトロ-アコースティック カップリング

推奨スピーカー構成に対して定められたプリセットを用いることにより、特定の放射パターンを持つコヒレントな音源となります。

L-Acoustics ファクトリープリセットは、アクティブエンクロージャーの内部や、様々なスピーカーエンクロージャーを組み合わせた際に存在する「異なるトランスデューサーセクション間のカップリング」を確実にします。

既定のチャンネルセットに対して、ファクトリー設定上のプリセットパラメーターをユーザーが調整できます。

いくつかの特定のスピーカー構成用のプリセットと、アクティブスピーカーのプリセットに対してチャンネルセットを定めています。適切な出力チャンネルの組み合わせに対してルーティング、ゲイン、ディレイのパラメーターをリンクすることでコヒレントなカップリングが維持されます。例えば、[LF HF]は 2 ウェイエンクロージャー用プリセットのチャンネルセットです。また、[SR SB SB SB]はカーディオイドサブウーハー用プリセットのチャンネルセットです。

本書は L-Acoustics プロダクトファミリーを区分し、システムごとの推奨スピーカー構成と、適合するファクトリープリセット、得られる音響的な特性を一覧で示します。

サブウーハーの「近接」と「分離」に関する制限は、該当するシステムのユーザーマニュアルを参照してください。

いくつかのエンクロージャーを組み合わせるケースではタイムアライメントのためにディレイ値の調整が必要です。詳細は[プリアライメントディレイ値](#)(p.88)のセクションを確認してください。

周波数レスポンスコンター

同軸スピーカーエンクロージャーである X シリーズには 2 つの異なるコンターがあります。

- 標準プリセット：ステージモニターを除くすべてのアプリケーション向け。
- MO プリセット：ステージモニターアプリケーション向け。

旧タイプの同軸スピーカーエンクロージャー（XT、MTD シリーズ）には 3 つの異なるコンターがあります。

- FR プリセット：一般的な FOH アプリケーション向け
- FI プリセット：フィルシステム、ジャズ、クラシック音楽、スピーチ向け。
- MO プリセット：1/2 自遊空間（スピーカーをフロア置くことを想定）におけるモニターアプリケーション向け。

A シリーズと Kara II WST エンクロージャーには 3 つの異なるコンターがあります。

- メインのプリセット：一般的な配列のラインソースにおいて基準的な FOH コンター
- FI プリセット：当該スピーカーエンクロージャーをフィルシステムとして用いる場合
- MO プリセット：当該スピーカーエンクロージャーをステージモニターとして用いる場合

現行の WST システムには 1 つまたは 2 つの異なるコンターがあります。

- メインのプリセット：一般的な配列のラインソースにおいて基準的な FOH コンター
- FI プリセット：当該スピーカーエンクロージャーをフィルシステムで使用する際に適したコンター（一部のシステムのみ）

従来の WST システムは従来のプリセット構成を引き継いでいます。（_HI と _LO のプリセット）

ユーザーは必要に応じて LA Network Manager のコンター EQ ツールでシステムの音色を調整できます。

WST システムのレスポンス調整には 2 種類のアレイモーフィングツール（ズームファクターと LF コンター）を用います。これにより基準聴取距離やラインソース長に関わらず、異なるソース（アレイ）の音色を統一させることができます。（聴取距離が近いイメージ・遠いイメージ）（ライン長が短いイメージ・長いイメージ）詳細は LA Network Manager のビデオチュートリアルとアレイモーフィング解説書を参照してください。

L2/L2D 低域ポーラパターン

L2 と L2D はそれぞれ側面に 4 つのローカードィオイド（LC）スピーカーを備え、標準的なアレイで低域の背面音圧を最小化した広帯域のカードィオイドパターンを形成します。

- [L2 xxx] / [L2D xxx] プリセットでは、アレイは標準的なカードィオイドパターンを形成します。
- L2 xxx_S] / [L2D xxx_S] プリセットでは、アレイは側方の低域音圧を最小化するスーパーカードィオイドパターンを形成します。

システム全体で同じ LF ポーラパターンを使います。詳細は **L2 オーナーズマニュアル**を参照してください。

標準、カードィオイド C、カードィオイド CX 構成

標準構成は準無指向性パターンを示します。すべてのサブウーファーを前方に向けたクラスターに、関連する標準プリセット（[xxxx_60]）を使用します。この構成は前方の SPL を最大化するとともに最適な時間的整合性を保証します。リアキャンセルが不要で、フロントレスポンスが最も重要なアプリケーションで使用します。

カードィオイド C 構成はカードィオイドパターンを示します。3 つまたは 4 つのサブウーファーのグループごとに 1 つのエンクロージャーを反転したクラスターに、関連するカードィオイドプリセット（[xxxx_60_C]）を使用します。この構成は前方の SPL と時間的整合性をほとんど、またはまったく妥協することなく、最も重要な周波数を中心としたリア SPL キャンセルを提供します。リアキャンセルとフロントレスポンスが等しく重要なアプリケーションで使用します。

カードィオイド Cx 構成はカードィオイドパターンを示します。3 つまたは 4 つのサブウーファーのグループごとに 1 つのエンクロージャーを反転したクラスターに、関連する拡張カードィオイドプリセット（[xxxx_60_Cx]）を使用します。この構成は前方の SPL と時間的整合性を少しだけ妥協することで、ブロードバンドのリア SPL キャンセルを提供します。リアキャンセルが最も重要なアプリケーションで使用します。

これらの構成の音響特性と物理配置の詳細については、**Standard and cardioid subwoofer configuration** 技術解説書を参照してください。

オンボードプリセットライブラリー

オンボードプリセットライブラリーは、適応するアンプリファイドコントローラーのドライブ能力と L-Acoustics スピーカーエンクロージャーが必要とするパワーのマッチングがとられています。

アンプリファイドコントローラーの最大出力

タイプ	負荷 16 Ω	負荷 8 Ω	負荷 4 Ω	負荷 2.7 Ω
LA12X	---	4 x 1400 W	4 x 2600 W	4 x 3300 W
LA8	---	4 x 1100 W	4 x 1800 W	
LA7.16(i)	16 x 580 W	16 x 920 W	16 x 1000 W	---
LA4X	---	4 x 1000 W		---
LA4	---	4 x 800 W	4 x 1000 W	---
LA2Xi	4 x 190 W	4 x 360 W	4 x 640 W	---
	---	2 x 1260 W		
			1 x 2550 W	

1 kHz・全チャンネル駆動、CEA-2006 / 490A に基づく試験。

LA2Xi プリセットライブラリー

LA2Xi オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 091 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA2Xi プリセットライブラリー 7.10

KARA II

011	[KARA II 70]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
012	[KARA II 90]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
013	[KARA II 110]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
014	[KARA II_FI]	Kara II(i)、HPF=100 Hz、フィル
015	[KARA II_MO]	Kara II(i)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー
016	[KARAIIDOWNK3]	Kara II(i)、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

017	[KARA]	Kara(i)、フルレンジ、フロントオブハウス
018	[KARA_FI]	Kara(i)、HPF=100 Hz、フィル
019	[KARADOWNK3]	Kara、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KIVA II

020	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
021	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

A15

022	[A15]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ
023	[A15_FI]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、フィル
024	[A15_MO]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

A10

025	[A10]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ
026	[A10_FI]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、フィル
027	[A10_MO]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

ARCS_WF

028	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
029	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

KS28

030	[KS28_60]	KS28、LPF=60 Hz
031	[KS28_100]	KS28、LPF=100 Hz
032	[KS28_60_C]	KS28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
033	[KS28_100_C]	KS28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
034	[KS28_60_Cx]	KS28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
035	[KS28_100_Cx]	KS28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン
036	[KS28 L2]	KS28、L2(D)に最適化
037	[KS28 L2_C]	KS28、カーディオイドパターン、L2(D)に最適化
038	[KS28 L2_Cx]	KS28、拡張カーディオイドパターン、L2(D)に最適化

SB28

039	[SB28_60]	SB28、LPF=60 Hz
040	[SB28_100]	SB28、LPF=100 Hz
041	[SB28_60_C]	SB28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
042	[SB28_100_C]	SB28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
043	[SB28_60_Cx]	SB28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
044	[SB28_100_Cx]	SB28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

045	[KS21_60]	KS21(i)、LPF=60 Hz
046	[KS21_100]	KS21(i)、LPF=100 Hz
047	[KS21_60_C]	KS21(i)、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
048	[KS21_100_C]	KS21(i)、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
049	[KS21_60_Cx]	KS21(i)、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
050	[KS21_100_Cx]	KS21(i)、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

051	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
052	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
053	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
054	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
055	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
056	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

057	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
058	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
059	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB10

060	[SB10_60]	SB10i、LPF=60 Hz
061	[SB10_100]	SB10i、LPF=100 Hz
062	[SB10_200]	SB10i、LPF=200 Hz

SB6

063	[SB6_60]	SB6i、LPF=60 Hz
064	[SB6_100]	SB6i、LPF=100 Hz
065	[SB6_200]	SB6i、LPF=200 Hz

SYVA

066	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

067	[SYVA LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
-----	----------------	--------------------------

SYVA+LOW

068	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）
-----	-----------------	-------------------------

SYVA_SUB

069	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
070	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

SOKA

071	[SOKA]	Soka、フルレンジ
072	[SOKA_60]	Soka(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
073	[SOKA_200]	Soka(r)、近接サブとの組み合わせによる壁面マウント

X15 HiQ

074	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
075	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

076	[X12]	X12、フルレンジ
077	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

078	[X8]	X8、フルレンジ
079	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8i

080	[X8i]	X8i、フルレンジ
081	[X8i_40]	X8i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減
082	[X8i_MO]	X8i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X6i

083	[X6i]	X6i、フルレンジ
084	[X6i_50]	X6i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、
085	[X6i_MO]	X6i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

5XT

086	[5XT]	5XT、フルレンジ
087	[5XT_MO]	5XT、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X4

088	[X4]	X4i(r)、フルレンジ
089	[X4_60]	X4i(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
090	[X4_MO]	X4i(r)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

FLAT

091	[FLAT_LA2Xi]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	--------------	--------------------------

LA4 プリセットライブラリー

LA4 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 096 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4 プリセットライブラリー 7.10

KIVA

011	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
012	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

013	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フルレンジ、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KIVAKILO

014	[KIVA_KILO]	Kiva および Kilo、フルレンジ、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

ARCS

015	[ARCS_LO]	ARCS、フルレンジ、LO コンター
016	[ARCS_LO_60]	ARCS、HPF=60 Hz、LO コンター
017	[ARCS_LO_100]	ARCS、HPF=100 Hz、LO コンター
018	[ARCS_HI]	ARCS、フルレンジ、HI コンター
019	[ARCS_HI_60]	ARCS、HPF=60 Hz、HI コンター
020	[ARCS_HI_100]	ARCS、HPF=100 Hz、HI コンター

ARCS_WF

021	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
022	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

SB18

023	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
024	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
025	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
026	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
027	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
028	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB118

029	[SB118_60]	SB118、LPF=60 Hz
030	[SB118_100]	SB118、LPF=100 Hz
031	[SB118_60_C]	SB118、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
032	[SB118_100_C]	SB118、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

033	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
034	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
035	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KILO

036	[KILO]	Kilo、LPF=100 Hz
-----	--------	-----------------

12XTA

037	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
038	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
039	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
040	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
041	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
042	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

12XTP

043	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
044	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
045	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
046	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
047	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
048	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

049	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
050	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
051	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
052	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
053	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
054	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

055	[5XT]	5XT、フルレンジ
056	[5XT_MO]	5XT、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X4

057	[X4]	X4i(r)、フルレンジ
058	[X4_60]	X4i(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
059	[X4_MO]	X4i(r)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XT

060	[115XT_FI]	115XT、フルレンジ、フィル
061	[115XT_FI_100]	115XT、HPF=100 Hz、フィル
062	[115XT_FR]	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
063	[115XT_FR_100]	115XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
064	[115XT_MO]	115XT、フルレンジ、モニター
065	[115XT_MO_100]	115XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bA

066	[115bA_FI]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フィル
067	[115bA_FI_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
068	[115bA_FR]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
069	[115bA_FR_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
070	[115bA_MO]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、モニター
071	[115bA_MO_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bP

072	[115bP_FI]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フィル
073	[115bP_FI_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
074	[115bP_FR]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
075	[115bP_FR_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
076	[115bP_MO]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、モニター
077	[115bP_MO_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

112XT

078	[112XT_FI]	112XT、フルレンジ、フィル
079	[112XT_FI_100]	112XT、HPF=100 Hz、フィル
080	[112XT_FR]	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
081	[112XT_FR_100]	112XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
082	[112XT_MO]	112XT、フルレンジ、モニター
083	[112XT_MO_100]	112XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD112b

084	[112b_FI]	MTD112b、フルレンジ、フィル
085	[112b_FI_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フィル
086	[112b_FR]	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
087	[112b_FR_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
088	[112b_MO]	MTD112b、フルレンジ、モニター
089	[112b_MO_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、モニター

MTD108a

090	[108a_FI]	MTD108a、フルレンジ、フィル
091	[108a_FI_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フィル
092	[108a_FR]	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
093	[108a_FR_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
094	[108a_MO]	MTD108a、フルレンジ、モニター
095	[108a_MO_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、モニター

FLAT

096	[FLAT_LA4]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	------------	--------------------------

LA4Xプリセットライブラリー

LA4X オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 128 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4Xプリセットライブラリー 7.10

K2

011	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
012	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
013	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3r1

014	[K3r1 70]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
015	[K3r1 90]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
016	[K3r1 110]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

017	[K3 70]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
018	[K3 90]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
019	[K3 110]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

KUDO

020	[KUDO50_25]	Kudo、HPF=25 Hz、K ルーバー50°設定
021	[KUDO50_40]	Kudo、HPF=40 Hz、K ルーバー50°設定
022	[KUDO50_60]	Kudo、HPF=60 Hz、K ルーバー50°設定
023	[KUDO80_25]	Kudo、HPF=25 Hz、K ルーバー80°設定
024	[KUDO80_40]	Kudo、HPF=40 Hz、K ルーバー80°設定
025	[KUDO80_60]	Kudo、HPF=60 Hz、K ルーバー80°設定
026	[KUDO110_25]	Kudo、HPF=25 Hz、K ルーバー110°設定
027	[KUDO110_40]	Kudo、HPF=40 Hz、K ルーバー110°設定
028	[KUDO110_60]	Kudo、HPF=60 Hz、K ルーバー110°設定

KARA_II

029	[KARA II 70]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
030	[KARA II 90]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
031	[KARA II 110]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
032	[KARA II_FI]	Kara II(i)、HPF=100 Hz、フィル
033	[KARA II_MO]	Kara II(i)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー
034	[KARAIIDOWNK1]	Kara II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
035	[KARAIIDOWNK2]	Kara II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
036	[KARAIIDOWNK3]	Kara II(i)、K3(i) ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

037	[KARA]	Kara(i)、フルレンジ、フロントオブハウス
038	[KARA_FI]	Kara(i)、HPF=100 Hz、フィル
039	[KARADOWNK1]	Kara、HPF=100 Hz、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
040	[KARADOWNK2]	Kara、HPF=100 Hz、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
041	[KARADOWNK3]	Kara、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KIVA_II

042	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
043	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

KIVA

044	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
045	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

046	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KILOKIVA

047	[KIVA_KILO]	Kiva および Kilo、フルレンジ、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

ARCS_II

048	[ARCS II]	ARCS II、フルレンジ
-----	-----------	---------------

A15

049	[A15]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ
050	[A15_FI]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、フィル
051	[A15_MO]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

A10

052	[A10]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ
053	[A10_FI]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、フィル
054	[A10_MO]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

ARCS_WF

055	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
056	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

KS21

057	[KS21_60]	KS21(i)、LPF=60 Hz
058	[KS21_100]	KS21(i)、LPF=100 Hz
059	[KS21_60_C]	KS21(i)、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
060	[KS21_100_C]	KS21(i)、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
061	[KS21_60_Cx]	KS21(i)、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
062	[KS21_100_Cx]	KS21(i)、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

063	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
064	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
065	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
066	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
067	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
068	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

069	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
070	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
071	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB10

072	[SB10_60]	SB10i(r)、LPF=60 Hz
073	[SB10_100]	SB10i(r)、LPF=100 Hz
074	[SB10_200]	SB10i(r)、LPF=200 Hz

SB6

075	[SB6_60]	SB6i(r)、LPF=60 Hz
076	[SB6_100]	SB6i(r)、LPF=100 Hz
077	[SB6_200]	SB6i(r)、LPF=200 Hz

KILO

078	[KILO]	Kilo、LPF=100 Hz
-----	--------	-----------------

SYVA

079	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

080	[SYVA_LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
-----	----------------	--------------------------

SYVA+LOW

081	[SYVA_LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）
-----	-----------------	-------------------------

SYVA_SUB

082	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
083	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

SOKA

084	[SOKA]	Soka(r)、フルレンジ
085	[SOKA_60]	Soka(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
086	[SOKA_200]	Soka(r)、近接サブとの組み合わせによる壁面マウント

X15 HiQ

087	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
088	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

089	[X12]	X12、フルレンジ
090	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

091	[X8]	X8、フルレンジ
092	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8i

093	[X8i]	X8i、フルレンジ
094	[X8i_40]	X8i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減
095	[X8i_MO]	X8i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X6i

096	[X6i]	X6i、フルレンジ
097	[X6i_50]	X6i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、
098	[X6i_MO]	X6i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

099	[HiQ_FI]	115XT HiQ、フルレンジ、フィル
100	[HiQ_FI_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フィル
101	[HiQ_FR]	115XT HiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
102	[HiQ_FR_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
103	[HiQ_MO]	115XT HiQ、フルレンジ、モニター
104	[HiQ_MO_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、モニター

12XTA

105	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
106	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
107	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
108	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
109	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
110	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

12XTP

111	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
112	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
113	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
114	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
115	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
116	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

117	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
118	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
119	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
120	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
121	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
122	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

123	[5XT]	5XT、フルレンジ
124	[5XT_MO]	5XT、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X4

125	[X4]	X4i(r)、フルレンジ
126	[X4_60]	X4i(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
127	[X4_MO]	X4i(r)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

FLAT

128	[FLAT_LA4X]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	-------------	--------------------------

LA8 プリセットライブラリー

LA8 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリ領域である 011 から 194 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリ領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA8 プリセットライブラリー 7.10

K1

011	[K1]	K1、フルレンジ
-----	------	----------

K2

012	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3r1

015	[K3r1 70]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
016	[K3r1 90]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
017	[K3r1 110]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

018	[K3 70]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
019	[K3 90]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
020	[K3 110]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

021	[K1SB_60]	K1-SB、LPF=60 Hz、コンター構成に最適化
022	[K1SB_X]	K1-SB、LPF=200 Hz、K1 スロー構成に最適化
023	[K1SB_X K2]	K1-SB、LPF=200 Hz、K2 スロー構成に最適化

V-DOSC

024	[V-DOSC_LO]	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター
025	[V-DOSC_LO_60]	V-DOSC、LPF=60 Hz、LO コンター
026	[V-DOSC_LO_X]	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター、[SB218_X] および [dV-S_X] プリセットに最適化
027	[V-DOSC_HI]	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター
028	[V-DOSC_HI_60]	V-DOSC、LPF=60 Hz、HI コンター
029	[V-DOSC_HI_X]	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター、[SB218_X] および [dV-S_X] プリセットに最適化

KUDO

030	[KUDO50_25]	Kudo、HPF=25 Hz、K ルーバー50°設定
031	[KUDO50_40]	Kudo、HPF=40 Hz、K ルーバー50°設定
032	[KUDO50_60]	Kudo、HPF=60 Hz、K ルーバー50°設定
033	[KUDO80_25]	Kudo、HPF=25 Hz、K ルーバー80°設定
034	[KUDO80_40]	Kudo、HPF=40 Hz、K ルーバー80°設定
035	[KUDO80_60]	Kudo、HPF=60 Hz、K ルーバー80°設定
036	[KUDO110_25]	Kudo、HPF=25 Hz、K ルーバー110°設定
037	[KUDO110_40]	Kudo、HPF=40 Hz、K ルーバー110°設定
038	[KUDO110_60]	Kudo、HPF=60 Hz、K ルーバー110°設定

KARA_II

039	[KARA II 70]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
040	[KARA II 90]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
041	[KARA II 110]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
042	[KARA II_FI]	Kara II(i)、HPF=100 Hz、フィル
043	[KARA II_MO]	Kara II(i)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー
044	[KARAIIDOWNK1]	Kara II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
045	[KARAIIDOWNK2]	Kara II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
046	[KARAIIDOWNK3]	Kara II(i)、K3(i) ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

047	[KARA]	Kara(i)、フルレンジ、フロントオブハウス
048	[KARA_FI]	Kara(i)、HPF=100 Hz、フィル
049	[KARADOWNK1]	Kara、HPF=100 Hz、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
050	[KARADOWNK2]	Kara、HPF=100 Hz、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
051	[KARADOWNK3]	Kara、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

dV-DOSC

052	[dV_FI]	dV-DOSC、HPF=100 Hz、フィル
053	[dV_LO]	dV-DOSC、フルレンジ、LO コンター
054	[dV_LO_100]	dV-DOSC、HPF=100 Hz、LO コンター
055	[dV_HI]	dV-DOSC、フルレンジ、HI コンター
056	[dV_HI_100]	dV-DOSC、HPF=100 Hz、HI コンター

dV-D_dVS

057	[dV_dV-S_LO]	dV-DOSC および dV-SUB、クロスオーバー100 Hz、LO コンター
058	[dV_dV-S_HI]	dV-DOSC および dV-SUB、クロスオーバー100 Hz、HI コンター
059	[dV_dV-S_LO60]	dV-DOSC および dV-SUB、HPF=60 Hz、クロスオーバー100 Hz、LO コンター
060	[dV_dV-S_HI60]	dV-DOSC および dV-SUB、HPF=60 Hz、クロスオーバー100 Hz、HI コンター

dV-SUB

061	[dV-S_60_100]	dV-SUB、HPF=60 Hz、LPF=100 Hz
062	[dV-S_100]	dV-SUB、LPF=100 Hz
063	[dV-S_60_X]	dV-SUB、HPF=60 Hz、LPF=200 Hz、[V-DOSC_xx_60] プリセットに最適化
064	[dV-S_X]	dV-SUB、LPF=200 Hz、[V-DOSC_xx_X] プリセットに最適化

ARCS_II

065	[ARCS II]	ARCS II、フルレンジ
-----	-----------	---------------

ARCS

066	[ARCS_LO]	ARCS、フルレンジ、LO コンター
067	[ARCS_LO_60]	ARCS、HPF=60 Hz、LO コンター
068	[ARCS_LO_100]	ARCS、HPF=100 Hz、LO コンター
069	[ARCS_HI]	ARCS、フルレンジ、HI コンター
070	[ARCS_HI_60]	ARCS、HPF=60 Hz、HI コンター
071	[ARCS_HI_100]	ARCS、HPF=100 Hz、HI コンター

A15

072	[A15]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ
073	[A15_FI]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、フィル
074	[A15_MO]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

A10

075	[A10]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ
076	[A10_FI]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、フィル
077	[A10_MO]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

ARCS_WF

078	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
079	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

SB28

080	[SB28_60]	SB28、LPF=60 Hz
081	[SB28_100]	SB28、LPF=100 Hz
082	[SB28_60_C]	SB28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
083	[SB28_100_C]	SB28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
084	[SB28_60_Cx]	SB28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
085	[SB28_100_Cx]	SB28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

086	[KS21_60]	KS21(i)、LPF=60 Hz
087	[KS21_100]	KS21(i)、LPF=100 Hz
088	[KS21_60_C]	KS21(i)、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
089	[KS21_100_C]	KS21(i)、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
090	[KS21_60_Cx]	KS21(i)、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
091	[KS21_100_Cx]	KS21(i)、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB218

092	[SB218_60]	SB218、LPF=60 Hz
093	[SB218_100]	SB218、LPF=100 Hz
094	[SB218_X]	SB218、LPF=200 Hz、[V-DOSC_xx_X] プリセットに最適化

SB18

095	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
096	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
097	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
098	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
099	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
100	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB118

101	[SB118_60]	SB118、LPF=60 Hz
102	[SB118_100]	SB118、LPF=100 Hz
103	[SB118_60_C]	SB118、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
104	[SB118_100_C]	SB118、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

105	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
106	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
107	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB10

108	[SB10_60]	SB10i(r)、LPF=60 Hz
109	[SB10_100]	SB10i(r)、LPF=100 Hz
110	[SB10_200]	SB10i(r)、LPF=200 Hz

KILO

111	[KILO]	Kilo、LPF=100 Hz
-----	--------	-----------------

KIVA_II

112	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
113	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

KIVA

114	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
115	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

116	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KILOKIVA

117	[KIVA_KILO]	Kiva および Kilo、フルレンジ、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

SYVA

118	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

119	[SYVA_LOW_100]	Syva Low (離れた)、LPF=100 Hz
-----	----------------	---------------------------

SYVA+LOW

120	[SYVA_LOW_SYVA]	Syva および Syva Low (近接した)
-----	-----------------	--------------------------

SYVA_SUB

121	[SYVA_SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
122	[SYVA_SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

X15HiQ

123	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
124	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

125	[X12]	X12、フルレンジ
126	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

127	[X8]	X8、フルレンジ
128	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

129	[HiQ_FI]	115XT HiQ、フルレンジ、フィル
130	[HiQ_FI_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フィル
131	[HiQ_FR]	115XT HiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
132	[HiQ_FR_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
133	[HiQ_MO]	115XT HiQ、フルレンジ、モニター
134	[HiQ_MO_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、モニター

12XTA

135	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
136	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
137	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
138	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
139	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
140	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

12XTP

141	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
142	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
143	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
144	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
145	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
146	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

147	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
148	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
149	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
150	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
151	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
152	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

153	[5XT]	5XT、フルレンジ
154	[5XT_MO]	5XT、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X4

155	[X4]	X4i(r)、フルレンジ
156	[X4_60]	X4i(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
157	[X4_MO]	X4i(r)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XT

158	[115XT_FI]	115XT、フルレンジ、フィル
159	[115XT_FI_100]	115XT、HPF=100 Hz、フィル
160	[115XT_FR]	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
161	[115XT_FR_100]	115XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
162	[115XT_MO]	115XT、フルレンジ、モニター
163	[115XT_MO_100]	115XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bA

164	[115bA_FI]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フィル
165	[115bA_FI_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
166	[115bA_FR]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
167	[115bA_FR_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
168	[115bA_MO]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、モニター
169	[115bA_MO_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bP

170	[115bP_FI]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フィル
171	[115bP_FI_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
172	[115bP_FR]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
173	[115bP_FR_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
174	[115bP_MO]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、モニター
175	[115bP_MO_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

112XT

176	[112XT_FI]	112XT、フルレンジ、フィル
177	[112XT_FI_100]	112XT、HPF=100 Hz、フィル
178	[112XT_FR]	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
179	[112XT_FR_100]	112XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
180	[112XT_MO]	112XT、フルレンジ、モニター
181	[112XT_MO_100]	112XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD112b

182	[112b_FI]	MTD112b、フルレンジ、フィル
183	[112b_FI_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フィル
184	[112b_FR]	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
185	[112b_FR_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
186	[112b_MO]	MTD112b、フルレンジ、モニター
187	[112b_MO_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、モニター

MTD108a

188	[108a_FI]	MTD108a、フルレンジ、フィル
189	[108a_FI_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フィル
190	[108a_FR]	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
191	[108a_FR_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
192	[108a_MO]	MTD108a、フルレンジ、モニター
193	[108a_MO_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、モニター

FLAT

194	[FLAT_LA8]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	------------	--------------------------

LA12Xプリセットライブラリー

LA12 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 136 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA12Xプリセットライブラリー 7.10

K1

011	[K1]	K1、フルレンジ
-----	------	----------

K2

012	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3r1

015	[K3r1 70]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
016	[K3r1 90]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
017	[K3r1 110]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

018	[K3 70]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
019	[K3 90]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
020	[K3 110]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

021	[K1SB_60]	K1-SB、LPF=60 Hz、コンター構成に最適化
022	[K1SB_X]	K1-SB、LPF=200 Hz、K1 スロー構成に最適化
023	[K1SB_X K2]	K1-SB、LPF=200 Hz、K2 スロー構成に最適化

KARA_II

024	[KARA II 70]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
025	[KARA II 90]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
026	[KARA II 110]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
027	[KARA II_FI]	Kara II(i)、HPF=100 Hz、フィル
028	[KARA II_MO]	Kara II(i)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー
029	[KARAIIDOWNK1]	Kara II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
030	[KARAIIDOWNK2]	Kara II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
031	[KARAIIDOWNK3]	Kara II(i)、K3(i) ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

032	[KARA]	Kara(i)、フルレンジ、フロントオブハウス
033	[KARA_FI]	Kara(i)、HPF=100 Hz、フィル
034	[KARADOWNK1]	Kara、HPF=100 Hz、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
035	[KARADOWNK2]	Kara、HPF=100 Hz、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
036	[KARADOWNK3]	Kara、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

ARCS_II

037	[ARCS II]	ARCS II、フルレンジ
-----	-----------	---------------

A15

038	[A15]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ
039	[A15_FI]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、フィル
040	[A15_MO]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

A10

041	[A10]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ
042	[A10_FI]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、フィル
043	[A10_MO]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

ARCS_WF

044	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
045	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

KS28

046	[KS28_60]	KS28、LPF=60 Hz
047	[KS28_100]	KS28、LPF=100 Hz
048	[KS28_60_C]	KS28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
049	[KS28_100_C]	KS28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
050	[KS28_60_Cx]	KS28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
051	[KS28_100_Cx]	KS28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン
052	[KS28 L2]	KS28、L2(D)に最適化
053	[KS28 L2_C]	KS28、カーディオイドパターン、L2(D)に最適化
054	[KS28 L2_Cx]	KS28、拡張カーディオイドパターン、L2(D)に最適化

SB28

055	[SB28_60]	SB28、LPF=60 Hz
056	[SB28_100]	SB28、LPF=100 Hz
057	[SB28_60_C]	SB28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
058	[SB28_100_C]	SB28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
059	[SB28_60_Cx]	SB28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
060	[SB28_100_Cx]	SB28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

061	[KS21_60]	KS21(i)、LPF=60 Hz
062	[KS21_100]	KS21(i)、LPF=100 Hz
063	[KS21_60_C]	KS21(i)、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
064	[KS21_100_C]	KS21(i)、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
065	[KS21_60_Cx]	KS21(i)、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
066	[KS21_100_Cx]	KS21(i)、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

067	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
068	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
069	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
070	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
071	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
072	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

073	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
074	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
075	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB10

076	[SB10_60]	SB10i(r)、LPF=60 Hz
077	[SB10_100]	SB10i(r)、LPF=100 Hz
078	[SB10_200]	SB10i(r)、LPF=200 Hz

SB6

079	[SB6_60]	SB6i(r)、LPF=60 Hz
080	[SB6_100]	SB6i(r)、LPF=100 Hz
081	[SB6_200]	SB6i(r)、LPF=200 Hz

KIVA_II

082	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
083	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

KIVA

084	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
085	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

086	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

SYVA

087	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

088	[SYVA LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
-----	----------------	--------------------------

SYVA+LOW

089	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）
-----	-----------------	-------------------------

SYVA_SUB

090	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
091	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

SOKA

092	[SOKA]	Soka(r)、フルレンジ
093	[SOKA_60]	Soka(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
094	[SOKA_200]	Soka(r)、近接サブとの組み合わせによる壁面マウント

X15HiQ

095	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
096	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

097	[X12]	X12、フルレンジ
098	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

099	[X8]	X8、フルレンジ
100	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8i

101	[X8i]	X8i、フルレンジ
102	[X8i_40]	X8i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減
103	[X8i_MO]	X8i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X6i

104	[X6i]	X6i、フルレンジ
105	[X6i_50]	X6i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、
106	[X6i_MO]	X6i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

107	[HiQ_FI]	115XT HiQ、フルレンジ、フィル
108	[HiQ_FI_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フィル
109	[HiQ_FR]	115XT HiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
110	[HiQ_FR_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
111	[HiQ_MO]	115XT HiQ、フルレンジ、モニター
112	[HiQ_MO_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、モニター

12XTA

113	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
114	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
115	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
116	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
117	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
118	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

112XTP

119	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
120	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
121	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
122	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
123	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
124	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

125	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
126	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
127	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
128	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
129	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
130	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

131	[5XT]	5XT、フルレンジ
132	[5XT_MO]	5XT、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X4

133	[X4]	X4i(r)、フルレンジ
134	[X4_60]	X4i(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
135	[X4_MO]	X4i(r)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

FLAT

136	[FLAT_LA12X]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	--------------	--------------------------

LA7.16i レイアウトライブラリー

LA7.16i オンボードレイアウトライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 01 から 075 に保存されています。各レイアウトファミリーにおけるレイアウトメモリー場所番号、名称、解説を以下の表で示します。

LA7.16i レイアウトライブラリー

L2

001	[L2 110]	L2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
002	[L2D 110]	L2D、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K2

003	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
004	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
005	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3r1

006	[K3r1 70]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
007	[K3r1 90]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
008	[K3r1 110]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

009	[K3 70]	レガシー-K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
010	[K3 90]	レガシー-K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
011	[K3 110]	レガシー-K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

KARA_II

012	[KARA II 70]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	[KARA II 90]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	[KARA II 110]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
015	[KARA II_FI]	Kara II(i)、HPF=100 Hz、フィル
016	[KARA II_MO]	Kara II(i)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー
017	[KARAIIDOWNK1]	Kara II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
018	[KARAIIDOWNK2]	Kara II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
019	[KARAIIDOWNK3]	Kara II(i)、K3(i) ダウンフィルにディレイを最適化

A15

020	[A15]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ
021	[A15_FI]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、フィル
022	[A15_MO]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

A10

023	[A10]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ
024	[A10_FI]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、フィル
025	[A10_MO]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

KS21

026	[KS21_60]	KS21(i)、LPF=60 Hz
027	[KS21_100]	KS21(i)、LPF=100 Hz

KS21_C

028	[KS21_60_C]	KS21(i)、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
029	[KS21_100_C]	KS21(i)、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
030	[KS21_60_Cx]	KS21(i)、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
031	[KS21_100_Cx]	KS21(i)、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

032	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
033	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz

SB18_C

034	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
035	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
036	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
037	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

038	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
-----	------------	-----------------

SB15_C

039	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
040	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB10

041	[SB10_60]	SB10i(r)、LPF=60 Hz
042	[SB10_100]	SB10i(r)、LPF=100 Hz
043	[SB10_200]	SB10i(r)、LPF=200 Hz

SB6

044	[SB6_60]	SB6i(r)、LPF=60 Hz
045	[SB6_100]	SB6i(r)、LPF=100 Hz
046	[SB6_200]	SB6i(r)、LPF=200 Hz

KIVA_II

047	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
048	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

SYVA

049	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

050	[SYVA LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
051	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）

SYVA_SUB

052	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
053	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

SOKA

054	[SOKA]	Soka(r)、フルレンジ
055	[SOKA_60]	Soka(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
056	[SOKA_200]	Soka(r)、近接サブとの組み合わせによる壁面マウント

X15HiQ

057	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
058	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

059	[X12]	X12、フルレンジ
060	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

061	[X8]	X8、フルレンジ
062	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8i

063	[X8i]	X8i、フルレンジ
064	[X8i_40]	X8i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減
065	[X8i_MO]	X8i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X6i

066	[X6i]	X6i、フルレンジ
067	[X6i_50]	X6i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、
068	[X6i_MO]	X6i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

5XT

069	[5XT]	5XT、フルレンジ
070	[5XT_MO]	5XT、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X4

071	[X4]	X4i(r)、フルレンジ
072	[X4_60]	X4i(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
073	[X4_MO]	X4i(r)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

FALT_LA7.16_8R

074	[FLAT_LA7.16_8R]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護。8 オームまたはそれ以上の負荷に用いる。
-----	------------------	---

FALT_LA7.16_4R

075	[FLAT_LA7.16_4R]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護。4 オームから 8 オームの間で構成される負荷に用いる。
-----	------------------	---

LA7.16 レイアウトライブラリー

LA7.16 オンボードレイアウトライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリ領域である 01 から 075 に保存されています。各レイアウトファミリーにおけるレイアウトメモリー場所番号、名称、解説を以下の表で示します。

LA7.16 レイアウトライブラリー

L2

001	[L2 110]	L2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
002	[L2D 110]	L2D、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K2

003	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
004	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
005	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3r1

006	[K3r1 70]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
007	[K3r1 90]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
008	[K3r1 110]	R1 ステッカー付き更新 K3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

009	[K3 70]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
010	[K3 90]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
011	[K3 110]	レガシーK3(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

KARA_II

012	[KARA II 70]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	[KARA II 90]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	[KARA II 110]	Kara II(i)、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
015	[KARA II_FI]	Kara II(i)、HPF=100 Hz、フィル
016	[KARA II_MO]	Kara II(i)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー
017	[KARAIIDOWNK1]	Kara II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
018	[KARAIIDOWNK2]	Kara II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
019	[KARAIIDOWNK3]	Kara II(i)、K3(i) ダウンフィルにディレイを最適化

A15

020	[A15]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ
021	[A15_FI]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、フィル
022	[A15_MO]	A15(i) Wide または A15(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

A10

023	[A10]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ
024	[A10_FI]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、フィル
025	[A10_MO]	A10(i) Wide または A10(i) Focus、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

KS21

026	[KS21_60]	KS21(i)、LPF=60 Hz
027	[KS21_100]	KS21(i)、LPF=100 Hz

KS21_C

028	[KS21_60_C]	KS21(i)、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
029	[KS21_100_C]	KS21(i)、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
030	[KS21_60_Cx]	KS21(i)、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
031	[KS21_100_Cx]	KS21(i)、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

032	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
033	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz

SB18_C

034	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
035	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
036	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
037	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

038	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
-----	------------	-----------------

SB15_C

039	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
040	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB10

041	[SB10_60]	SB10i(r)、LPF=60 Hz
042	[SB10_100]	SB10i(r)、LPF=100 Hz
043	[SB10_200]	SB10i(r)、LPF=200 Hz

SB6

044	[SB6_60]	SB6i(r)、LPF=60 Hz
045	[SB6_100]	SB6i(r)、LPF=100 Hz
046	[SB6_200]	SB6i(r)、LPF=200 Hz

KIVA_II

047	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
048	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

SYVA

049	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

050	[SYVA LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
051	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）

SYVA_SUB

052	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
053	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

SOKA

054	[SOKA]	Soka(r)、フルレンジ
055	[SOKA_60]	Soka(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
056	[SOKA_200]	Soka(r)、近接サブとの組み合わせによる壁面マウント

X15HiQ

057	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
058	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

059	[X12]	X12、フルレンジ
060	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

061	[X8]	X8、フルレンジ
062	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8i

063	[X8i]	X8i、フルレンジ
064	[X8i_40]	X8i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減
065	[X8i_MO]	X8i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X6i

066	[X6i]	X6i、フルレンジ
067	[X6i_50]	X6i、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、
068	[X6i_MO]	X6i、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

5XT

069	[5XT]	5XT、フルレンジ
070	[5XT_MO]	5XT、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X4

071	[X4]	X4i(r)、フルレンジ
072	[X4_60]	X4i(r)、低い低域再生限界、最大音圧 6 dB 減、分離サブとの組み合わせによる壁面マウント
073	[X4_MO]	X4i(r)、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

FALT_LA7.16_8R

074	[FLAT_LA7.16_8R]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護。8 オームまたはそれ以上の負荷に用いる。
-----	------------------	---

FALT_LA7.16_4R

075	[FLAT_LA7.16_4R]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護。4 オームから 8 オームの間で構成される負荷に用いる。
-----	------------------	---

フラットプリセット



フラットプリセットの出力チャンネルに接続したトランスデューサーは L-DRIVE で保護されません。

FLAT プリセットで作用するリミットは「アンプ保護のためにクリップを最小化するものだけ」です。

サードパーティーのスピーカーエンクロージャーをドライブする場合は、スピーカーモデルに合わせたプリセットを持つ外部 DSP デバイスの併用を推奨します。

FLAT プリセットは、入力信号の周波数特性に変更を加えずに増幅し、ダイレクトに出力にルーティングします。すべての出力パラメーターにアクセスできます。(ミュート、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ルーティング)

- LA2Xi の SE モードにおける [FLAT_LA2X] プリセットのヘッドルームは 0 dB です。
- LA2Xi の BTL/PBTL モード、LA4、LA4X における [FLAT_xxx] プリセットのヘッドルームは 6dB です。
- LA8 における [FLAT_LA8] プリセットのヘッドルームは 8 dB です。
- LA12X における [FLAT_LA12X] プリセットのヘッドルームは 9.5 dB です。
- LA7.16i における [FLAT_LA7.16_4R] と [FLAT_LA7.16_8R] レイアウトのヘッドルームは 8 dB です。

[FLAT_xxxx]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[FLAT_LA7.16_4R] / [FALT_LA7.16_8R]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN 1	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN 2	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN 3	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN 4	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 5	PA	IN 5	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 6	PA	IN 6	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 7	PA	IN 7	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 8	PA	IN 8	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 9	PA	IN 9	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 10	PA	IN 10	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 11	PA	IN 11	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 12	PA	IN 12	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 13	PA	IN 13	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 14	PA	IN 14	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 15	PA	IN 15	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 16	PA	IN 16	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

プログレッシブ超高密度ラインソース プリセット

プログレッシブ超高密度 WST ラインソース専用のファクトリーレイアウトは、ロングスローアプリケーション用に最適化されています。

このセクションでは、各システムのスピーカーコンフィギュレーションとファクトリーレイアウトを表で示します。

10dB 帯域幅や LF リミット、周波数特性のコンターなど、各スピーカーコンフィギュレーションの音響特性を示します。

L2 / L2D

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	L2	L2D	KS28 *	
L2/L2D ラインソース	[L2 70] [L2 90] [L2 110]	[L2D 70] [L2D 90] [L2D 110]	-	45 Hz – 20 kHz 低域リジェクション (リアカーディオイド)
	[L2 70_S] [L2 90_S] [L2 110_S]	[L2D 70_S] [L2D 90_S] [L2D 110_S]		45 Hz – 20 kHz スーパーカーディオイド パターン
L2/L2D ラインソース + サブウーハー	[L2 70] [L2 90] [L2 110]	[L2D 70] [L2D 90] [L2D 110]	[KS28 L2]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[L2 70_S] [L2 90_S] [L2 110_S]	[L2D 70_S] [L2D 90_S] [L2D 110_S]		

*サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KS28_L2_C]または[KS28_L2_Cx]を用います。



L2 / L2D アジャスタブルフィンとプリセット

各パンフレックスモジュールの L2 / L2D アジャスタブルフィンは、必ずプリセットレイアウトで選択したプリセットに従って設定してください：

L2 には：[L2 70] / [L2 70_S]: 70°, [L2 90] / [L2 90_S]: 90°, [L2 110] / [L2 110_S]: 110°

L2D には：[L2D 70] / [L2D 70_S]: 70°, [L2D 90] / [L2D 90_S]: 90°, [L2D 110] / [L2D 110_S]: 下段の 2 モジュールは 110°の固定です。

詳細は **L2 オーナーズマニュアル**を参照してください。



L2 / L2D 低域ポーラパターン

システム全体で同じポーラパターン（[L2 xxx] / [L2D xxx] または [L2 xxx_S] / [L2D xxx_S]）を選択します。詳しくはプリセット設計（P.8）を参照してください。



LC：低域カーディオイド

L2 と L2D は、それぞれ側面に 4 つの低域カーディオイド（LC）スピーカーを備えており、標準アレイで広帯域のカーディオイドパターンを示します。

[L2 70] [L2 90] [L2 110] [L2 70_S] [L2 90_S] [L2 110_S]
[L2D 70] [L2D 90] [L2D 110] [L2D 70_S] [L2D 90_S] [L2D 110_S]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	LC					ON
OUT 2	LF					ON
OUT 3	HF					ON
OUT 4	HF					ON
OUT 5	LC					ON
OUT 6	LF					ON
OUT 7	HF					ON
OUT 8	HF	IN 1	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 9	LC					ON
OUT 10	LF					ON
OUT 11	HF					ON
OUT 12	HF					ON
OUT 13	LC					ON
OUT 14	LF					ON
OUT 15	HF					ON
OUT 16	HF					ON

[KS28 L2]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KS28 L2_C] [KS28 L2_Cx]

スピーカー エレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT-1	SR					ON
SB	OUT-2	SB					ON
SB	OUT-3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT-4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

可変曲率 WST システム プリセット

可変曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットはロングスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（- 10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

K1



互換性の問題

プリセットライブラリー4.x の[K1][KARADOWNK1][K2 xxx]のプリセットは、バージョン 4.0 未満のプリセットライブラリーと互換性がありません。

古いプリセットを使っているセッションファイルから仕事を始めると互換性の問題が発生します。一つのラインソースの中では、すべてのユニットで同じバージョンのプリセットライブラリーを使ってください。

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K1 ラインソース	[K1]	-	-	35 Hz – 20 kHz
K1 / K1-SB ラインソース（K1-SB が上段）	[K1]	[K1SB_X]	-	低域スローイング強化
K1 ラインソース + 近接 K1-SB サブウーハー（横または後）	[K1]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去（側方偏極または後方カーディオイド）
K1 ラインソース + サブウーハー	[K1]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

*サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]または[xx28_60_Cx]を用います。



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

K2 エンクロージャーは[K2_110]でドライブします。

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK1]、Kara II エンクロージャーは[KARAIIDOWNK1]（110°）、[KARAIIDOWNK1 70] [KARAIIDOWNK1 90]でドライブします。

K2 または Kara II のアジャスタブルフィンが選択したプリセットに従って設定されていることを常に確認してください。

[K1]と[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KARADOWNK1] / [KARAIIDOWNK1] / [KARAIIDOWNK1 70] / [KARAIIDOWNK1 90]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARAIIDOWNK1]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



工場出荷時のパラメーターには、Kara または Kara II を K1 ラインソースのダウンフィルとしてカップリングする最適なディレイを含んでいます。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

K2

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K2	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K2 ラインソース	[K2 xxx]	-		35 Hz – 20 kHz 水平指向角調整可能
K2 / K1-SB ラインソース (K1-SB が上段)	[K2 xxx]	[K1SB_X K2]	-	低域スローイング強化
K2 ラインソース + 近接 K1-SB サブウーハー (上・横・後)	[K2 xxx]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去 (側方偏極または後方カーディオイド)
K2 ラインソース + サブウーハー	[K2 xxx]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]または[xx28_60_Cx]を用います。



K2 のフィン設定とプリセット

K2 のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。

[K2 70] : 70°、[K2 90] : 90°、[K2 110] : 110°

詳細は K2 ユーザーマニュアルを参照してください。



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK2]、Kara II エンクロージャーは[KARAIIDOWNK2] (110°)、[KARAIIDOWNK2 70]、[KARAIIDOWNK2 90]でドライブします。

Kara II のアジャスタブルフィンが選択したプリセットに従って設定されていることを常に確認してください。

[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X K2]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



[K1SB_X K2] のヘッドルームは 10 dB です。

[KARADOWNK2] / [KARAIIDOWNK2] / [KARAIIDOWNK2 70] / [KARAIIDOWNK2 90]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARAIIDOWNK2]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



工場出荷時のパラメーターには、Kara または Kara II を K2 ラインソースのダウンフィルとしてカップリングする最適なディレイを含んでいます。

[KARADOWNK2] / [KARAIIDOWNK2] / [KARAIIDOWNK2 70] [KARAIIDOWNK2 90]のヘッドルームは 11 dB です。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

K3

K3 と K3i は同じエンクロージャーの異なるバージョンです。ファクトリープリセットや推奨スピーカー構成は同じです。
KS21 と KS21i は同じエンクロージャーの異なるバージョンです。ファクトリープリセットや推奨スピーカー構成は同じです。
Kara II と Kara III は同じエンクロージャーの異なるバージョンです。ファクトリープリセットや推奨スピーカー構成は同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	K3	KS28 または KS21*	
K3 ラインソース	[K3 xxx] または [K3r1 xxx]	-	42 Hz – 20 kHz 水平指向角調整可能
K3 ラインソース + サブウーハー	[K3 xxx] または [K3r1 xxx]	[KSxx_60]	29 Hz まで拡張 (KS21) 25 Hz まで拡張 (KS28) 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KSxx_xx_C]または[KSxx_xx_Cx]を uses。

!

[K3 xxx] と [K3r1 xxx] のプリセットの選び方

[K3r1 xxx] プリセットは、高域ダイアフラム交換キャンペーン（2023 年半ばに開始）中にアップデート実施、またはこのキャンペーン後に製造された K3 (i) エンクロージャーにのみ用います。K3r1 適応エンクロージャーには識別ラベルとして「R1」のステッカーが貼られています。

「R1」ステッカーが貼られていないエンクロージャーにはこれまでの [K3 xxx] プリセットを用い、L-Acoustics の担当者に連絡し、アップデートしてください。K3r1 に適応していない K3 (i) で [K3r1 xxx] プリセットを使用しないでください。高域ドライバが破損する可能性があります。

!

K3 のフィン設定とプリセット

K3 のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。
[K3 70] : 70°、[K3 90] : 90°、[K3 110] : 110°
詳細は K3 オーナーズマニュアルを参照してください。

i

垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK3]、Kara II エンクロージャーは[KARAIIDOWNK3] (110°)、[KARAIIDOWNK3 70]、[KARAIIDOWNK3 90]でドライブします。

Kara II および Kara III のアジャスタブルフィンが選択したプリセットに従って設定されていることを常に確認してください。

[K3 xxx] / [K3r1 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARADOWNK3] / [KARAIIDOWNK3] / [KARAIIDOWNK3 70] / [KARAIIDOWNK3 90]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARAIIDOWNK3]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



工場出荷時のパラメーターには、Kara または Kara II を K3 ラインソースのダウンフィルとしてカップリングする最適なディレイを含んでいます。

[KARADOWNK3] / [KARAIIDOWNK3] / [KARAIIDOWNK3 70] / [KARAIIDOWNK3 90]のヘッドルームは 15 dB です。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

Kara II



Kara II と Kara Iii は、同じエンクロージャーの異なるバージョンです。ファクトリープリセットや推奨スピーカー構成は同じです。
SB18 と SB18 Iii は、同じエンクロージャーの異なるバージョンです。ファクトリープリセットと推奨スピーカー構成は同じです。
KS21 と KS21i は、同じエンクロージャーの異なるバージョンです。ファクトリープリセットと推奨スピーカー構成は同じです。

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kara II	SB18、KS21*	KS28、SB28*	
ラインソース	[KARA II xxx]	---	---	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KARA II xxx]	[xxxx_100]	---	32 Hz まで拡張 (SB18)、31 Hz まで拡張 (KS21)、25 Hz まで拡張 (KS28 または SB28) 低域コンターを強化
ラインソース + 離れたサブウーハー	[KARA II xxx]	[xxxx_60]	---	
ラインソース + 近接サブウーハー + KS28 または SB28	[KARA II xxx]	[xxxx_100]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コのエンクロージャー	[KARA II_FI]	---	---	フラットレスポンス HPF 100 Hz
1 コまたは 2 コのエンクロージャー + 近接サブウーハー	[KARA II_FI]	[xxxx_100]	---	32 Hz まで拡張 (SB18)、31 Hz まで拡張 (KS21) フラットレスポンス 低域コンターを強化
最大 3 コのエンクロージャー	[KARA II_MO]	---	---	55 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
最大 3 コのエンクロージャー + 近接サブウーハー	[KARA II_MO]	[xxxx_60]	---	32 Hz まで拡張 (SB18)、31 Hz まで拡張 (KS21) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。



Kara II のフィン設定とプリセット

Kara II のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。

[Kara II 70] : 70°、[Kara II 90] : 90°、[Kara II 110] : 110°

詳細は KARA II オーナーズユーザーマニュアルを参照してください。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。



Kara と Kara II を同一ラインソースで使わない
Kara と Kara II は音響的なカップリングが最適化されていません。

[KARA II 70] / [KARA II 90] / [KARA II 110]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARA II_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARA II_FI]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kara



KARA と KARAi は同じエンクロージャーのバージョン違いです。推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kara	KS28、SB28、SB18、KS21*	
ラインソース	[KARA]	-	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KARA]	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 (SB18)、31 Hz まで拡張 (KS21)、25 Hz まで拡張 (KS28 または SB28) 低域コンターを強化
ラインソース + 離れたサブウーハー	[KARA]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コのエンクロージャー	[KARA_FI]	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。

[KARA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARA_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kiva II

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva II	SB15m*	SB18*	
ラインソース	[KIVA II]	-		70 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KIVA II]	[SB15_100]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 (SB18) 40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
最大で 3 台の エンクロージャー	[KIVA II_FI]	-		70 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
最大で 3 台の エンクロージャー + 近接サブウーハー	[KIVA II_FI]	[SB15_100]	-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB1x_xx_C]または[SB1x_xx_Cx]を用います。

[KIVA II]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA II_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kiva SB15m

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kiva	SB15m*	
ラインソース	[KIVA]	-	80 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KIVA_SB15]		40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[KIVA]	[SB15_100]	
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[KIVA_FI]	-	80 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
2 コのエンクロージャー + 近接サブウーハー	[KIVA_FI]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を 사용합니다。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_SB15]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SB15m	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_SB15]にはプリアライメントディレイが組み込まれています。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

Kiva Kilo

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva	Kilo	SB18*	
ラインソース	[KIVA]	-	-	80 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 Kilo	[KIVA_KILO]		-	50 Hz まで拡張
ラインソース + 近接 Kilo + SB18	[KIVA_KILO]		[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[KIVA_FI]	-		80 Hz – 20 kHz フラットレスポンス

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_100_C]または[SB18_100_Cx]を uses。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_KILO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
KILO	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_KILO]はブリアライメントディレイが組み込まれています。

[KILO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	Sb	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kudo

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kudo	KS28、SB28、SB18*	
ラインソース	[KUDOxx_25]		35 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_40]		40 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_60]		60 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[KUDOxx_40]	[xxx8_60]	25 Hz まで拡張 (KS28 と SB28) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxx8_xx_C]または[xxx8_xx_Cx]を用います。



KUDO のルーバーとプリセット
KUDO のルーバーに合わせて適合するプリセットを選んでください。
[KUDO50_xx] : 50°、[KUDO80_xx] : 80°、[KUDO110_xx] : 110°
詳細は KUDO ユーザーマニュアルを参照してください。

[KUDOxx_xx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

V-DOSC

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	V-DOSC*	dV-SUB	KS28/SB28/SB218**	
ラインソース	[V-DOSC_LO] または[V-DOSC_HI]	---		40 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 dV-SUB	[V-DOSC_xx_X]	[dV-S-X]	---	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
ラインソース + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	---	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化
ラインソース + 近接 SB218	[V-DOSC_xx_X]	---	[SB218_60]	
ラインソース + 近接 dV-SUB + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	[dV-S_60_X]	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域リソースを追加

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xx28_xx_Cx]を用います。(KS28 / SB28)



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

dV-DOSC エンクロージャーは[dV_xx_100]でドライブします。

[V-DOSC_LO] [V-DOSC_HI] [V-DOSC_xx_60] [V-DOSC_xx_X]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[dV-S_X] [dV-S_60_X] [SB218_X]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[dV_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

dV-DOSC

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	dV-DOSC*	dV-SUB	KS28, SB218 SB28, SB18 SB118 **	
ラインソース	[dV_LO] または [dV_HI]	-		65 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 dV-SUB	[dV_dV-S_xx]		-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[dV_xx_100]	[dV-S_100]		
ラインソース + 近接 SB	[dV_xx_100]	—	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218)
ラインソース + 近接 dV-SUB + 近接 SB	[dV_dV-S_xx60]		[xxxx_60]	
	[dV_xx_100]	[dV-S_60_100]		
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[dV_FI]	-	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。(KS28 / SB28 / SB18)

[dV_LO] [dV_HI] [dV_xx_60] [dV_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV-S_100] [dV-S_60_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[dV_dV-S_HI] [dV_dV-S_HI60] [dV_dV-S_LO] [dV_dV-S_LO60]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
dV-SUB	OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-SUB	OUT 2	SB					ON
dV-DOSC LF	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC HF	OUT 4	HF					ON



[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV_dV-S_xx]はプリアライメントディレイを含んでいます。
[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_60_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV-S_60_100]はプリアライメントディレイを含んでいます。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

定曲率 WST システム プリセット

定曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットはミディアムスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

ARCS Wide / ARCS Focus

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS Wide / ARCS Focus	SB18*	
ラインソース	[ARCS_WIFO]	-	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + SB18m	[ARCS_WIFO]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[ARCS_WIFO_FI]	-	55 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体エンクロージャー + SB18m	[ARCS_WIFO_FI]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_60_C]または[SB18_60_Cx]を用います。

[ARCS_WIFO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[ARCS_WIFO_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

A10 Wide/Focus



A10 Wide/Focus と A10i Wide/Focus は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

KS21 と KS21i は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	A10 Wide/Focus	KS21*	
ラインソース	[A10]	-	67 Hz – 20 kHz
ラインソース + KS21	[A10]	[KS21_100]	31 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[A10_FI]	-	67 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
	[A10_MO]	-	67 Hz – 20 kHz フラットレスポンス 低レイテンシー
単体エンクロージャー + KS21	[A10_FI]	[KS21_100]	31 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[A10_MO]	[KS21_100]	31 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KS21_100_C]または[KS21_100_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[A10]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[A10_FI] [A10_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

A15 Wide/Focus



A15 Wide/Focus と A15i Wide/Focus は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

KS21 と KS21i は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	A15 Wide/Focus	KS21*	
ラインソース	[A15]	-	41 Hz – 20 kHz
ラインソース + KS21	[15]	[KS21_60]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[A15_FI]	-	41 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
	[A15_MO]	-	41 Hz – 20 kHz フラットレスポンス 低レイテンシー
単体エンクロージャー + KS21	[A15_FI]	[KS21_60]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[A15_MO]	[KS21_60]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KS21_60_C]または[KS21_60_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[A15]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[A15_FI] [A15_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS II

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS II*	KS28 / SB28*	
ラインソース	[ARCS II]	-	50 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[ARCS II]	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]をまたは[xx28_60_Cx]を用います。

[ARCS II]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS*	SB18 / SB118 KS28 / SB28 / SB218**	
ラインソース	[ARCS_LO]または[ARCS_HI]	-	50 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[ARCS_xx_60]	[xxxx_60]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218) 低域コンターを強化
ARCS ラインソース + 近接 SB	[ARCS_xx_100]	[xxxx_100]	

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。(SB18/KS28/SB28)

[ARCS_LO] [ARCS_HI] [ARCS_xx_60] [ARCS_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

コリニアソースシステム プリセット

コリニアソースエンクロージャー用のファクトリープリセットはミディアムスローアプリケーション向けに最適化されています。

このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

Syva

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Syva	Syva Low	Syva Sub	
コリニアソース	[SYVA]	-	-	87 Hz – 20 kHz
コリニアソース + 近接 Syva Low	[SYVA LOW SYVA]		-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
コリニアソース + 離れた Syva Low	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	-	
コリニアソース + 近接 Syva Low + Syva Sub	[SYVA LOW SYVA]		[SYVA SUB_100]	27 Hz まで拡張 低域コンターを強化
コリニアソース + 離れた Syva Low + Syva Sub	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	[SYVA SUB_100]	



Syva システムはブリアライメントディレイ値が不要です。

[SYVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SYVA LOW SYVA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
Syva Low	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 2	PA					ON
Syva Low	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 4	PA					ON



Syva と Syva Low のハイブリッドプリセット

オートコネクトまたは Syva と Syva Low が 60 cm 以内の場合（音響的にカップリングされている）にのみ使用してください。

Syva と Syva Low が 60 cm 以上離れている場合は、LA Network Manager で[SYVA]と[SYVA LOW_100]を組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。



[SYVA SUB_100]は Syva / Syva Low と Syva Sub の音響的な結合を最適化するために極性を反転しています。



[SYVA SUB_200]を Syva と組み合わせない。

[SYVA SUB_200]は[X4]プリセットとの組み合わせに最適化されています。

[X4i](#) (p.75) を参照



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

SOAK

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	SOKA	SB6i / SB10i	
コリニアソース	[SOKA]	-	100 Hz – 20 kHz
コリニアソース + 近接結合サブウーハー	[SOKA_200]	[SBxx_200]	32 Hz まで拡張 (SB6i) 29 Hz まで拡張 (SB10i) 低域コンターを強化
コリニアソース + 結合サブウーハー	[SOKA]	[SBxx_100]	29 Hz まで拡張 (SB6i) 27 Hz まで拡張 (SB10i) 低域コンターを強化
コリニアソース + 離れたサブウーハー	[SOKA_60]	[SBxx_60]	29 Hz まで拡張 (SB6i) 25 Hz まで拡張 (SB10i) 低域コンターを強化

[SOKA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

同軸スピーカーエンクロージャー プリセット

同軸エンクロージャー用のファクトリープリセットはショートスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(–10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

X4i

X4i は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	X4i	SB6i / SB10i	Syva Sub	
単体エンクロージャー	[X4]	---	---	120 Hz – 20 kHz
	[X4_MO]	---	---	120 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
単体または ペアエンクロージャー + 近接サブウーハー	[X4]	[SBxx_200]	[SYVA SUB_200]	32 Hz (SB6i) または 29 Hz (SB10i) まで拡張 低域コンターを強化
	[X4_MO]			32 Hz (SB6i) または 29 Hz (SB10i) まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー
単体または ペアエンクロージャー + 近接サブウーハー	[X4]	[SBxx_100]		29 Hz (SB6i) または 27 Hz (SB10i) まで拡張 低域コンターを強化
	[X4_MO]			29 Hz (SB6i) または 27 Hz (SB10i) まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー
単体または ペアエンクロージャー + 離れたサブウーハー	[X4_60]	[SB6_60]	---	29 Hz (SB6i) まで拡張 低域コンターを強化



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[X4] [X4_60] [X4_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

5XT

5XT は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	5XT	SB15m* / SB10i	
単体エンクロージャー	[5XT]	-	95 Hz – 20 kHz
	[5XT_MO]	-	95 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
単体エンクロージャー + サブウーハー	[5XT]	[xxxx_100]	40 Hz (SB15m) または 27 Hz (SB10i) まで 拡張 低域コンターを強化
	[5XT_MO]		40 Hz (SB15m) または 27 Hz (SB10i) まで 拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[5XT] [5XT_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X6i

X6i は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X6i	SB6i / SB10i*	
単体エンクロージャー	[X6i]	-	69 Hz – 20 kHz
	[X6i_50]		54 Hz – 20 kHz
	[X6i_MO]		65 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
単体エンクロージャー + 近接サブウーハー	[X6i] または [X6i_50]	[SBxx_200]	32 Hz (SB6i) または 29 Hz (SB10i) まで 拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー + サブウーハー		[SBxx_100]	29 Hz (SB6i) または 27 Hz (SB10i) まで 拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xxx_C]または[SBxx_xxx_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[X6i] [X6i_50] [X6i_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X8

X8 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X8	SB15m*	
単体エンクロージャー	[X8]	-	60 Hz – 20 kHz
	[X8_MO]	-	55 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
単体エンクロージャー + SB15m	[X8]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
	[X8_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[X8] [X8_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X8i

X8i は同軸パッシブエンクロージャーです。



KS21 と KS21i は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X8i	SB10i / KS21 / Syva Sub*	
単体エンクロージャー	[X8i]	-	67 Hz – 20 kHz
	[X8_40]		43 Hz – 20 kHz
	[X8_MO]		59 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
単体エンクロージャー + 近接サブウーハー	[X8i] または [X8i_40]	[xxx_100]	27 Hz (SB10i または Syva Sub)、31 Hz (KS21) まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー + 離れたサブウーハー		[xxx_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxx_xx_C]または[xxx_xx_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[X8i] [X8i_40] [X8i_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X12

X12 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X12	SB15m/SB18/KS21*	
単体エンクロージャー	[X12]	-	59 Hz – 20 kHz
	[X12_MO]	-	57 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
単体エンクロージャー + サブウーハー	[X12]	[xxxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張(SB18) 低域コンターを強化
	[X12_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_100_C]または[xxxx_100_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[X12] [X12_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X15 HiQ

X15 HiQ は同軸アクティブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X15 HiQ	SB18/KS21*	
単体エンクロージャー	[X15]	-	55 Hz – 20 kHz
	[X15_MO]	-	52 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
単体エンクロージャー + サブウーハー	[X15]	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[X15_MO]		32 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_100_C]または[xxxx_100_Cx]を用います。



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

[X15] [X15_MO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP は同軸パッシブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸パッシブエンクロージャー	プリセット
8XT	[8XT_xx]
12XT パッシブモード	[12XTP_xx]
MTD108a	[108a_xx]
MTD112b	[112b_xx]
MTD115b パッシブモード	[115bP_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	パッシブ xxx	SB15m, SB18 SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3つのコンター から選択**
同軸 + 近接サブウーハー	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 低域コンターを強化	

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]または[SBxx_100_Cx]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA は同軸アクティブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸アクティブエンクロージャー	プリセット
12XT (アクティブモード)	[12XTA_xx]
115XT HiQ	[HiQ_xx]
MTD115b (アクティブモード)	[115bA_xx]
115XT	[115XT_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	アクティブ xxx	SB18 または SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3 つのコンター から選択**
同軸 + 近接サブウーハー	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化	

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C] または [SB18_100_CX] を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

サブウーハーエンクロージャー プリセット

このセクションの表は、L-Acoustics の汎用サブウーハーの構成と対応するファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

カーディオイド構成の詳細は[プリセットデザイン](#) (p.8) を参照してください。



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである[SB15_100]と[SB15_100_C]のヘッドルームは、プリセットライブラリー5.6(.5)から 8 dB に変更しました。ハイブリットプリセット[KIVA_SB15]、または以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

プリセットライブラリー6.0 において、いくつかのサブウーハーの出力ゲインを 8 dB のヘッドルームに変更しました。

このアップデートでは、同じ基準のピンクノイズ信号を用いて、フルレンジスピーカーとサブウーハースピーカーの L-Drive の挙動を合わせています。

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新する場合、更新前と同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

オプションサブウーハー互換

サブウーハー	可能なプリセット	最適な互換
KS28	[KS28_60]、[KS28_60_C] [KS28_60_Cx]	K1, K2, K3(i), V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, Kara II(i), ARCS, ARCS II
	[KS28_100]、[KS28_100_C] [KS28_100_Cx]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
	[KS28_L2]、[KS28_L2_C] [KS28_L2_Cx]	L2, L2D
SB28	[SB28_60]、[SB28_60_C] [SB28_60_Cx]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, Kara II(i), ARCS, ARCS II
	[SB28_100]または[SB28_100_C]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
KS21(i)	[KS21_60]、[KS21_60_C] [KS21_60_Cx]	A15(i) Wide/Focus, Kara(i), Kara II(i), K3(i)
	[KS21_100]、[KS21_100_C] [KS21_100_Cx]	A10(i) Wide/Focus, X15 HiQ, X12, XT, Kara(i), Kara II(i)
SB18(i/m) SB18 IIi	[SB18_60]、[SB18_60_C] [SB18_60_Cx]	Kudo, Kara, Kara II(i), Kiva/Kilo, ARCS, ARCS Wide, ARCS Focus
	[SB18_100]、[SB18_100_C] [SB18_100_Cx]	Kara, Kara II(i), ARCS, XT, X シリーズ, Kiva II
SB218	[SB218_60]	V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, ARCS
	[SB218_100]	dV-DOSC, 近接 ARCS
SB118	[SB118_60]、[SB118_60_C]	Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kiva/Kilo, ARCS
	[SB118_100]、[SB118_100_C]	dV-DOSC, ARCS, XT, 近接 MTD
SB15m	[SB15_100]、[SB15_100_C] [SB15_100_Cx]	近接 KIVA, 近接 KIVA II, XT, X12, X8

SB10i	[SB10_60]	離れた X4i
	[SB10_100]	近接 X4i、5XT
	[SB10_200]	近接結合 X4i
SB6i	[SB6_60]	離れた X4i
	[SB60_100]	近接 X4i
	[SB60_200]	近接結合 X4i
Syva Low	[SYVA LOW SYVA]	近接 Syva, 近接 Syva + Syva Sub
	[SYVA LOW_100]	Syva, Syva + Syva Sub
Syva Sub	[SYVA SUB_100]	Syva/Syva Low, 近接 Syva/Syva Low
	[SYVA SUB_200]	X4i

サブウーハーの音響的特性

スピーカー構成 ¹	プリセット ²	音響特性
標準	[xxxx_60]または[xxxx_100]	拡張 25 Hz まで (KS28/SB28/SB218/SB10i) 27 Hz まで (Syva Low+Syva Sub) 29 Hz まで (KS21/SB6i) 32 Hz まで (SB18/SB118) 40 Hz まで (SB15m/Syva Low)
カーディオイド C	[xxxx_60_C]または[xxxx_100_C]	拡張 25 Hz まで (KS28/SB28/SB218) 29 Hz まで (KS21) 32 Hz まで (SB18/SB118) 40 Hz まで (SB15m) カーディオイドパターン
カーディオイド Cx	[xxxx_60_Cx]または[xxxx_100_Cx]	拡張 25 Hz まで (KS28/SB28/SB218) 29 Hz まで (KS21) 32 Hz まで (SB18/SB118) 40 Hz まで (SB15m) 拡張カーディオイドパターン

¹ 構成ごとの推奨キャビネット配列パターンはサブウーハーマニュアルを参照してください。

² SB28 と SB218 は LA8 または LA12X アンプリファイドコントローラーでドライブできます。KS28 は LA2Xi および LA12X アンプリファイドコントローラーでドライブできます。

[xxxx_60] [xxxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[xxxx_60_C] [xxxx_100_C] [xxxx_60_Cx] [xxxx_100_Cx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR					ON
SB	OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

プリアライメントディレイ値



幾何学的な計測によるタイムアライメント

いくつかのスピーカーシステムを組み合わせる場合には、音響的な合算を最適化するために、それらのディレイ値を調整することが重要です。音響測定ツールが無いケースでは、このセクションの表に示されたプリアライメントディレイ値を使用します。

プリアライメントディレイはエンクロージャーの前面が同一平面上の幾何学的に同じ場所に位置する状態で計測されています。

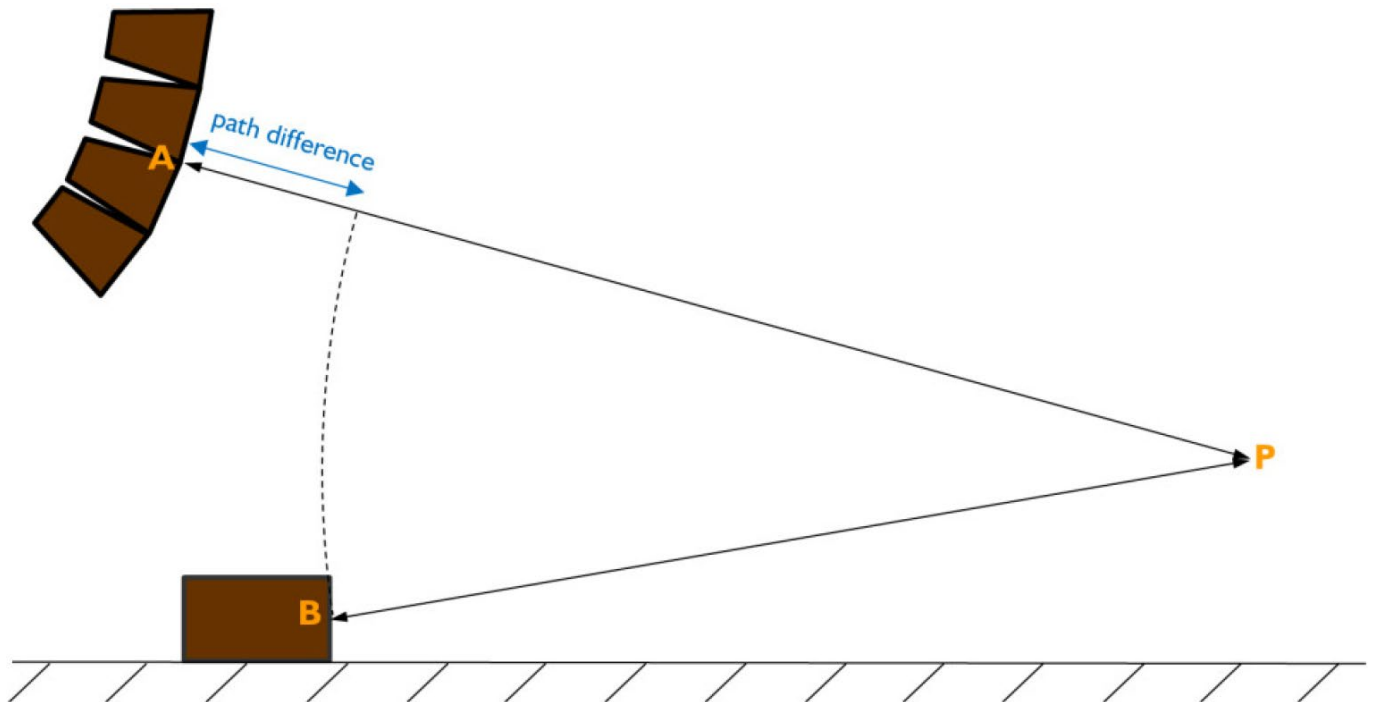
最初にファクトリープリセットにこれらの値を付加し、次にタイムアライメントとして最も到達距離が短いシステムに幾何学的なディレイを追加します。幾何学的なディレイは基準リスニングポイントと各システムとの到達距離差から算出します。



レーザーレンジファインダー（レーザー距離計）

L-Acoustics の Tech Toolcase には距離計測に使用できる truPulse™200 と Leica DISTO™D3、2つのレーザーデバイスを含んでいます。

ラインソース + 離れたサブウーハー



手順

- PA - PB 間の到達距離差を計測する。
 - P : 基準となるリスニングポイント
 - A : リスニングポイントからの距離が遠いシステムの中心、システム a と名付けます。
 - B : リスニングポイントからの距離が近いシステムの中心、システム b と名付けます。
- 幾何学的なディレイを計算 (S) : 到達距離差 (m) / 音速 ($\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$)
 - 音速 $\approx 340 \text{ m}\cdot\text{s}^{-1}$ 20°C 空気が乾燥した状態
- このセクションの表から、システム a とシステム b を組み合わせる場合の「a のプリアライメントディレイ」と「b のプリアライメントディレイ」を読み取ります。
- それぞれのシステムのファクトリープリセットにアライメントディレイを加えます。さらに、基準リスニングポイントに近い「システム b」にのみ、幾何学的なディレイを加えます。
 - システム a のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ a** (ms)
 - システム b のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ b** (ms) + 幾何学的なディレイ (ms)

ノーマライズ : 上の値の差分を保ったまま、値の小さいほうが 0 になるように再計算し入力します。



Default または **Bypassed LF filter mode** のオートフィルターは、メインシステムのアンプリファイドコントローラーのレイテンシーを 6.5 ms に拡張します。これらのモードのオートフィルターを使用したメインシステムとサブウーハーのアライメントには、つぎのいずれかを施します。

サブウーハーに 2.66 ms のディレイを加算

可能な場合は、メインシステムのディレイから 2.66 ms を減算

オートフィルターの詳細については、**Soundvision** と **LA Network Manager** のヘルプを参照してください。

プログレッシブ ウルトラデンス ラインソース



ブリアライメントディレイ値は、**Soundvision Autofilter** アルゴリズムによって適用される拡張レイテンシーを考慮して最適化されています。

L2/L2D + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[L2]/[L2D] + [KS28 L2]	L2/L2D = 0 ms		KS28 = 5 ms	
[L2]/[L2D] + [KS28_L2_C]	L2/L2D = 0 ms		KS28 = 0 ms	
[L2]/[L2D] + [KS28_L2_Cx]	L2/L2D = 0 ms		KS28 = 5 ms	

可変曲率 WST システム



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する [xx_MO] のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである [xx_MO] を選択します。

K1 + K1-SB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [K1SB_X]	K1 = 0 ms		K1-SB = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms	

K1 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [SB28_60]	K1 = 0.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [SB28_60_C]	K1 = 6 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [SB28_60_Cx]	K1 = 4 ms		SB28 = 0 ms	

K1 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[K1] + [KS28_60]	K1 = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [KS28_60_C]	K1 = 6 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [KS28_60_Cx]	K1 = 4 ms		KS28 = 0 ms	

K1 + K1-SB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60]	K1 = 0 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_C]	K1 = 5.5 ms		K1-SB = 5.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_Cx]	K1 = 3.5 ms		K1-SB = 3.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 6 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0.5 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_Cx]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 4 ms	

K1 + K1-SB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60]	K1 = 0 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60_C]	K1 = 5.5 ms		K1-SB = 5.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60_Cx]	K1 = 3.5 ms		K1-SB = 3.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 6 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 0.5 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60_Cx]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 4 ms	

K2 + K1-SB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[K2] + [K1SB_X K2]	K2 = 0 ms		K1-SB = 0 ms	
[K2] + [K1SB_60]	K2 = 6 ms		K1-SB = 0 ms	

K2 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[K2] + [SB28_60]	K2 = 0.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K2] + [SB28_60_C]	K2 = 6 ms		SB28 = 0 ms	
[K2] + [SB28_60_Cx]	K2 = 4 ms		SB28 = 0 ms	

K2 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[K2] + [KS28_60]	K2 = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K2] + [KS28_60_C]	K2 = 6 ms		KS28 = 0 ms	
[K2] + [KS28_60_Cx]	K2 = 4 ms		KS28 = 0 ms	

K2 + K1-SB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60]	K2 = 0 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0 ms	
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_C]	K2 = 5.5 ms		K1-SB = 5.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_Cx]	K2 = 3.5 ms		K1-SB = 3.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K2 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 6 ms	
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K2 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0.5 ms	
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_Cx]	K2 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 4 ms	

K2 + K1-SB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60]	K2 = 0 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 0 ms	
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_C]	K2 = 5.5 ms		K1-SB = 5.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_Cx]	K2 = 3.5 ms		K1-SB = 3.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K2 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 6 ms	
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K2 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 0.5 ms	
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_Cx]	K2 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		KS28 = 4 ms	

K3 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K3] + [KS28_60]	K3 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K3] + [KS28_60_C]	K3 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 
[K3] + [KS28_60_Cx]	K3 = 4 ms 	KS28 = 0 ms 

K3 + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K3] + [KS21_60]	K3 = 0 ms 	KS21 = 0 ms 
[K3] + [KS21_60_C]	K3 = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[K3] + [KS21_60_Cx]	K3 = 5 ms 	KS21 = 0 ms 

Kudo + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KUDOxx_60] + [SB118_60]	Kudo = 0 ms 	SB118 = 3.5 ms 
[KUDOxx_60] + [SB118_60_C]	Kudo = 2 ms 	SB118 = 0 ms 

Kudo + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KUDOxx_60] + [SB18_60]	Kudo = 0 ms 	SB18 = 3.9 ms 
[KUDOxx_60] + [SB18_60_C]	Kudo = 1.6 ms 	SB18 = 0 ms 

Kudo + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KUDOxx_60] + [SB218_60]	Kudo = 0 ms 	SB218 = 5 ms 

Kudo + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KUDOxx_60] + [SB28_60]	Kudo = 0 ms 	SB28 = 5 ms 
[KUDOxx_60] + [SB28_60_C]	Kudo = 0.5 ms 	SB28 = 0 ms 

Kudo + KB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KUDOxx_60] + [KS28_60]	Kudo = 0 ms		KS28 = 5 ms 
[KUDOxx_60] + [KS28_60_C]	Kudo = 0.5 ms		KS28 = 0 ms 

Kara + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA] + [SB18_100]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA_FI] + [SB18_100]	Kara = 3 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_100_C]	Kara = 5.5 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_100_Cx]	Kara = 4 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA_FI] + [SB18_100_C]	Kara = 8.5 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA_FI] + [SB18_100_Cx]	Kara = 7 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_60]	Kara = 2.5 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_60_C]	Kara = 8 ms		SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_60_Cx]	Kara = 6.5 ms		SB18 = 0 ms 

Kara + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA] + [KS21_60]	Kara = 0.5 ms		KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_60_C]	Kara = 6 ms		KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100]	Kara = 0 ms		KS21 = 0.5 ms 
[KARA] + [KS21_100_C]	Kara = 5 ms		KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100_Cx]	Kara = 4 ms		KS21 = 0 ms 
[KARA_FI] + [KS21_100]	Kara = 0 ms		KS21 = 2.5 ms 
[KARA_FI] + [KS21_100_C]	Kara = 3 ms		KS21 = 0 ms 
[KARA_FI] + [KS21_100_Cx]	Kara = 2 ms		KS21 = 0 ms 

Kara + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KARA] + [SB28_100]	Kara = 0 ms		SB28 = 1 ms	
[KARA] + [SB28_100_C]	Kara = 4.5 ms		SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_100_Cx]	Kara = 7.5 ms		SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_60]	Kara = 0 ms		SB28 = 5 ms	
[KARA] + [SB28_60_C]	Kara = 0.5 ms		SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_60_Cx]	Kara = 4.5 ms		SB28 = 0 ms	

Kara + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KARA] + [KS28_100]	Kara = 0 ms		KS28 = 1 ms	
[KARA] + [KS28_100_C]	Kara = 4.5 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [KS28_100_Cx]	Kara = 7.5 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [KS28_60]	Kara = 0 ms		KS28 = 5 ms	
[KARA] + [KS28_60_C]	Kara = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [KS28_60_Cx]	Kara = 4.5 ms		KS28 = 0 ms	

Kara + SB18 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 5.5 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_C]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		SB18 = 5.5 ms		KS28 = 0 ms	

Kara + SB18 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 5.5 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_C]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		SB18 = 5.5 ms		KS28 = 0 ms	

Kara + KS21 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60_C]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara + KS21 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60_C]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA II] + [SB18_100]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II_FI] + [SB18_100]	Kara II = 3 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II_MO] + [SB18_100]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100_C]	Kara II = 5.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100_Cx]	Kara II = 4 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II_FI] + [SB18_100_C]	Kara II = 8.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II_FI] + [SB18_100_Cx]	Kara II = 7 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_60]	Kara II = 2.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II_MO] + [SB18_60]	Kara II = 2.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_60_C]	Kara II = 8 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_60_Cx]	Kara II = 6.5 ms 	SB18 = 0 ms 

Kara II + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KARA II] + [KS21_60]	Kara II = 0.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_60_C]	Kara II = 6 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II_MO] + [KS21_60]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 
[KARA II] + [KS21_100_C]	Kara II = 5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100_Cx]	Kara II = 4 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II_FI] + [KS21_100]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 2.5 ms 
[KARA II_FI] + [KS21_100_C]	Kara II = 3 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II_FI] + [KS21_100_Cx]	Kara II = 2 ms 	KS21 = 0 ms 

Kara II + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KARA II] + [SB28_100]	Kara II = 0 ms 	SB28 = 1 ms 
[KARA II] + [SB28_100_C]	Kara II = 4.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB28_100_Cx]	Kara II = 7.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB28_60]	Kara II = 0 ms 	SB28 = 5 ms 
[KARA II] + [SB28_60_C]	Kara II = 0.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB28_60_Cx]	Kara II = 4.5 ms 	SB28 = 0 ms 

Kara II + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA II] + [KS28_100]	Kara II = 0 ms 	KS28 = 1 ms 
[KARA II] + [KS28_100_C]	Kara II = 4.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS28_100_Cx]	Kara II = 7.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS28_60]	Kara II = 0 ms 	KS28 = 5 ms 
[KARA II] + [KS28_60_C]	Kara II = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS28_60_Cx]	Kara II = 4.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + SB18 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [SB18_100] + [SB28_60]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [SB28_60_C]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [SB28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	SB18 = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + SB18 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [SB18_100] + [KS28_60]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [KS28_60_C]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [KS28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	SB18 = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + KS21 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [KS21_100] + [SB28_60]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [SB28_60_C]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [SB28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + KS21 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [KS21_100] + [KS28_60]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [KS28_60_C]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [KS28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kiva + Kilo

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA] + [KILO]	Kiva = 0 ms 	Kilo = 1.5 ms 

Kiva/Kilo + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA_KILO] + [SB118_60]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB118 = 5.9 ms 
[KIVA_KILO] + [SB118_60_C]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB118 = 0.4 ms 

Kiva/Kilo + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA_KILO] + [SB18_60]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB18 = 6.3 ms 
[KIVA_KILO] + [SB18_60_C]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB18 = 0.8 ms 

Kiva + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA] + [SB15_100]	Kiva = 0 ms 	SB15m = 1.4 ms 
[KIVA] + [SB15_100_C]	Kiva = 2.4 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA_FI] + [SB15_100]	Kiva = 0 ms 	SB15m = 0.6 ms 

Kiva/SB15m + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA_SB15] + [SB18_60]	Kiva/SB15m = 0 ms 	SB18 = 8.5 ms 
[KIVA_SB15] + [SB18_60_C]	Kiva/SB15m = 0 ms 	SB18 = 3 ms 

Kiva II + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA II] + [SB15_100]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_Cx]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100_Cx]	Kiva II = 5 ms 	SB15m = 0 ms 

Kiva II + SB15m + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 	SB18 = 1 ms 
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_C]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 5.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_Cx]	Kiva II = 1 ms 	SB15m = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 	SB18 = 3.5 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_C]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_Cx]	Kiva II = 3 ms 	SB15m = 0.5 ms 	SB18 = 0 ms 

V-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[V-DOSC_xx_X] + [SB218_X]	V-DOSC = 1.8 ms 	SB218 = 0 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms 	SB218 = 3.8 ms 

V-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms 	SB28 = 3.8 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.7 ms 	SB28 = 0 ms 

V-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60]	V-DOSC = 0 ms 	KS28 = 3.8 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.7 ms 	KS28 = 0 ms 

V-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_X] + [dV-S_X]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 

V-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 	SB218 = 3.7 ms 

V-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 	SB28 = 3.7 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.9 ms 	dV-SUB = 2 ms 	SB28 = 0 ms 

V-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 	KS28 = 3.7 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.9 ms 	dV-SUB = 2 ms 	KS28 = 0 ms 

V-DOSC + dV-DOSC

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0 ms 	dV-DOSC = 0 ms 

V-DOSC + dV-DOSC downfill

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0 ms 	dV-DOSC = 0.04 ms 

dV-DOSC + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB118_100]	dV = 2.7 ms 	SB118 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB118_100_C]	dV = 8.3 ms 	SB118 = 0 ms 

dV-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB218_100]	dV = 0.8 ms 	SB218 = 0 ms 

dV-DOSC + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB18_100]	dV = 2.4 ms 	SB18 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB18_100_C]	dV = 8 ms 	SB18 = 0 ms 

dV-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB28_100]	dV = 0.8 ms 	SB28 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB28_100_C]	dV = 6.3 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [KS28_100]	dV = 0.8 ms 	SB28 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [KS28_100_C]	dV = 6.3 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [dV-S_100]	dV = 0 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB118 = 4 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60_C]	dV = 1.5 ms 	dV-SUB = 2.25 ms 	SB118 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB218_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB218 = 4.5 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB18_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB18 = 4.4 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB18_60_C]	dV = 1.1 ms 	dV-SUB = 1.85 ms 	SB18 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB28 = 4.5 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60_C]	dV = 1 ms 	dV-SUB = 1.75 ms 	S218 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [KS28_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB18 = 4.5 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [KS28_60_C]	dV = 1 ms 	dV-SUB = 1.75 ms 	SB18 = 0 ms 

定曲率 WST システム



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードを使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

ARCS + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB118_60]	ARCS = 0.8 ms 	SB118 = 0 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB118_60_C]	ARCS = 6.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB118_100]	ARCS = 1.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB118_100_C]	ARCS = 6.9 ms 	SB118 = 0 ms 

ARCS + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB18_60]	ARCS = 0.4 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB18_60_C]	ARCS = 5.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB18_100]	ARCS = 1.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB18_100_C]	ARCS = 6.6 ms 	SB18 = 0 ms 

ARCS + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB218_60]	ARCS = 0 ms 	SB218 = 0.9 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB218_100]	ARCS = 0 ms 	SB218 = 0.3 ms 

ARCS + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB28_60]	ARCS = 0 ms 	SB28 = 0.6 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB28_60_C]	ARCS = 4.9 ms 	SB28 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB28_100]	ARCS = 0 ms 	SB28 = 0.5 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB28_100_C]	ARCS = 5.0 ms 	SB28 = 0 ms 

ARCS + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [KS28_60]	ARCS = 0 ms 	KS28 = 0.6 ms 
[ARCS_xx_60] + [KS28_60_C]	ARCS = 4.9 ms 	KS28 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [KS28_100]	ARCS = 0 ms 	KS28 = 0.5 ms 
[ARCS_xx_100] + [KS28_100_C]	ARCS = 5.0 ms 	KS28 = 0 ms 

ARCS II+ SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_II] + [SB28_60]	ARCS II = 0 ms 	SB28 = 2 ms 
[ARCS_II] + [SB28_60_C]	ARCS II = 3.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[ARCS_II] + [SB28_60_Cx]	ARCS II = 7.5 ms 	SB28 = 0 ms 

ARCS II+ KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_II] + [KS28_60]	ARCS II = 0 ms 	KS28 = 2 ms 
[ARCS_II] + [KS28_60_C]	ARCS II = 3.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[ARCS_II] + [KS28_60_Cx]	ARCS II = 7.5 ms 	KS28 = 0 ms 

ARCS Wide/Focus + SB18m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60]	ARCS Wide/Focus = 1.5 ms 	SB18m = 0 ms 
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60_C]	ARCS Wide/Focus = 7 ms 	SB18m = 0 ms 
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60_Cx]	ARCS Wide/Focus = 6 ms 	SB18m = 0 ms 

A15 Wide/Focus + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[A15] or [A15_FI] or [A15_MO] + [KS21_60]	A15 Wide/Focus = 0 ms 	KS21 = 2.3 ms 
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60_C]	A15 Wide/Focus = 9 ms 	KS21 = 0 ms 
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60_Cx]	A15 Wide/Focus = 8 ms 	KS21 = 0 ms 

A10 Wide/Focus + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[A10] or [A10_FI] or [A10_MO] + [KS21_100]	A10 Wide/Focus = 0 ms 	KS21 = 0 ms 
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100_C]	A10 Wide/Focus = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100_Cx]	A10 Wide/Focus = 0 ms 	KS21 = 0 ms 

コリニアシステム



Syva システムはブリアライメントディレイ値が不要です。

Soka + SB6i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[SOKA] + [SB6_100]	Soka = 1.4 ms 	SB6i = 0 ms 
[SOKA_200] + [SB6_200]	Soka = 1.9 ms 	SB6i = 0 ms 
[SOKA_60] + [SB6_60]	Soka = 3.6 ms 	SB6i = 0 ms 

Soka + SB10i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[SOKA] + [SB10_100]	Soka = 2.6 ms 	SB10i = 0 ms 
[SOKA_200] + [SB10_200]	Soka = 3.2 ms 	SB10i = 0 ms 
[SOKA_60] + [SB10_60]	Soka = 9 ms 	SB10i = 0 ms 

同軸スピーカーエンクロージャー



[xx_MO]プリセット (XT および MTD エンクロージャーを除く) は、アンプリファイドコントローラーの低レイテンシー動作モードを使用します。サブウーファーと併用する場合は、サブウーファーを低レイテンシー動作モードで使用することを推奨します。

4 出力アンプリファイドコントローラーでは、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーファーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

サブウーファーをファクトリープリセットでドライブする場合、4 出力アンプリファイドコントローラーは標準レイテンシーモードで動作するため、低レイテンシーで動作する[xx_MO]のチャンネルにアライメント用の追加ディレイを設定する必要があります。LA4 と LA8 は 2.66ms、LA2Xi、LA4X、LA12X は 3.00ms です。

16 出力アンプリファイドコントローラーでは、組み合わせるサブウーファーに低レイテンシープリセットである[xx_MO]を選択します。

X15 HiQ + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X15] + [SB18_100]	X15 HiQ = 4 ms 	SB18 = 0 ms 
[X15_MO] + [SB18_100]	X15 HiQ = 0 ms 	SB18 = 1 ms 
[X15] + [SB18_100_C]	X15 HiQ = 9.7 ms 	SB18 = 0 ms 
[X15] + [SB18_100_Cx]	X15 HiQ = 8.25 ms 	SB18 = 0 ms 

X15 HiQ + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X15] + [KS21_100]	X15 HiQ = 0 ms 	KS21 = 1.5 ms 
[X15_MO] + [KS21_100]	X15 HiQ = 0 ms 	KS21 = 1.5 ms 
[X15] + [KS21_100_C]	X15 HiQ = 3.9 ms 	KS21 = 0 ms 
[X15] + [KS21_100_Cx]	X15 HiQ = 2.6 ms 	KS21 = 0 ms 

X12 + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X12] + [SB15_100]	X12 = 1.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[X12_MO] + [SB15_100]	X12 = 0 ms 	SB15m = 3 ms 
[X12] + [SB15_100_C]	X12 = 5.1 ms 	SB15m = 0 ms 
[X12] + [SB15_100_Cx]	X12 = 3 ms 	SB15m = 0 ms 

X12 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X12] + [SB18_100]	X12 = 0 ms 	SB18 = 0 ms 
[X12_MO] + [SB18_100]	X12 = 0 ms 	SB18 = 0 ms 
[X12] + [SB18_100_C]	X12 = 5.7 ms 	SB18 = 0 ms 
[X12] + [SB18_100_Cx]	X12 = 4 ms 	SB18 = 0 ms 

X12 + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X12] + [KS21_100]	X12 = 0 ms 	KS21 = 1 ms 
[X12_MO] + [KS21_100]	X12 = 0 ms 	KS21 = 0.4 ms 
[X12] + [KS21_100_C]	X12 = 4.8 ms 	KS21 = 0 ms 
[X12] + [KS21_100_Cx]	X12 = 3.4 ms 	KS21 = 0 ms 

X8 + SB10i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X8] + [SB10_100]	X8 = 0 ms 	SB10i = 3.2 ms 

X8 + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X8] + [SB15_100]	X8 = 2 ms 	SB15m = 0 ms 
[X8_MO] + [SB15_100]	X8 = 0 ms 	SB15m = 3 ms 
[X8] + [SB15_100_C]	X8 = 5.7 ms 	SB15m = 0 ms 
[X8] + [SB15_100_CX]	X8 = 3.8 ms 	SB15m = 0 ms 

X8 + Syva Sub

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X8] + [SYVA SUB_100]	X8 = 0 ms 	Syva Sub = 0.7 ms 

X8i + SB10i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X8i] + [SB10_100]	X8i = 0 ms 	SB10i = 0.5 ms 
[X8i_40] + [SB10_100]	X8i = 1.8 ms 	SB10i = 0 ms 
[X8i_40] + [SB10_60]	X8i = 0 ms 	SB19i = 3 ms 

X8i + Syva Sub

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X8i] + [SYVA SUB_100]	X8i = 0 ms 	Syva Sub = 0 ms 
[X8i_40] + [SYVA SUB_100]	X8i = 2 ms 	Syva Sub = 0 ms 

X8i + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X8i] + [KS21_100]	X8i = 0 ms 	KS21 = 0 ms 

X6i + SB6i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X6i] + [SB6_200]	X6i = 0 ms 	SB6i = 0 ms 
[X6i_50] + [SB6_200]	X6i = 0 ms 	SB6i = 0 ms 
[X6i] + [SB6_100]	X6i = 0 ms 	SB6i = 1.2 ms 
[X6i_50] + [SB6_100]	X6i = 1.3 ms 	SB6i = 0 ms 

X6i + SB10i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X6i] + [SB10_200]	X6i = 1.4 ms 	SB10i = 0 ms 
[SB6i] + [SB10_100]	X6i = 0 ms 	SB10i = 0 ms 

5XT + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[5XT] + [SB15_100]	5XT = 0 ms 	SB15m = 0 ms 
[5XT_MO] + [SB15_100]	5XT = 0.6 ms 	SB15m = 0 ms 

5XT + SB10i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[5XT] or [5XT_MO] + [SB10_100]	5XT = 0 ms 	SB10i = 1.6 ms 

X4i + Syva Sub

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X4] or [X4_MO] + [SYVA SUB_200]	X4i = 0 ms 	Syva Sub = 0.5 ms 

X4i + SB6i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X4_60] + [SB6_60]	X4i = 1.8 ms 	Sb6i = 0 ms 
[X4] or [X4_MO] + [SB6_100]	X4i = 0 ms 	Sb6i = 0.4 ms 
[X4] or [X4_MO] + [SB6_200]	X4i = 0.6 ms 	Sb6i = 0 ms 

X4i + SB10i

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X4_60] + [SB10_60]	X4i = 7.2 ms 	SB10i = 0 ms 
[X4] or [X4_MO] + [SB10_100]	X4i = 0.8 ms 	SB10i = 0 ms 
[X4] + [SB10_200]	X4i = 1.9 ms 	SB10i = 0 ms 
[X4_MO] + [SB10_200]	X4i = 0 ms 	SB10i = 0 ms 

115XT HiQ + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 

115XT HiQ + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 

115XT HiQ + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms 	dV-SUB = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms 	dV-SUB = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.5 ms 	dV-SUB = 0 ms 

アクティブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTA_FI_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTA_FR_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTA_MO_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 

アクティブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTA_FI_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTA_FR_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTA_MO_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 

パッシブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTP_FI_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTP_FR_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTP_MO_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 

パッシブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTP_FI_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTP_FR_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTP_MO_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 

8XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[8XT_FI_100] + [SB118_100]	8XT = 3.1 ms 	SB118 = 0 ms 
[8XT_FR_100] + [SB118_100]	8XT = 3.2 ms 	SB118 = 0 ms 
[8XT_MO_100] + [SB118_100]	8XT = 3.0 ms 	SB118 = 0 ms 

8XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[8XT_FI_100] + [SB18_100]	8XT = 2.8 ms 	SB18 = 0 ms 
[8XT_FR_100] + [SB18_100]	8XT = 2.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[8XT_MO_100] + [SB18_100]	8XT = 2.7 ms 	SB18 = 0 ms 

115XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[115XT_FI_100] + [SB118_100]	115XT = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[115XT_FR_100] + [SB118_100]	115XT = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[115XT_MO_100] + [SB118_100]	115XT = 2.9 ms 	SB118 = 0 ms 

115XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[115XT_FI_100] + [SB18_100]	115XT = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[115XT_FR_100] + [SB18_100]	115XT = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[115XT_MO_100] + [SB18_100]	115XT = 2.6 ms 	SB18 = 0 ms 

アクティブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[115bA_FI_100] + [SB118_100]	115bA = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bA_FR_100] + [SB118_100]	115bA = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bA_MO_100] + [SB118_100]	115bA = 2.7 ms 	SB118 = 0 ms 

アクティブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[115bA_FI_100] + [SB18_100]	115bA = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bA_FR_100] + [SB18_100]	115bA = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bA_MO_100] + [SB18_100]	115bA = 2.4 ms 	SB18 = 0 ms 

パッシブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115bP_FI_100] + [SB118_100]	115bP = 2.1 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bP_FR_100] + [SB118_100]	115bP = 2.2 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bP_MO_100] + [SB118_100]	115bP = 2.8 ms 	SB118 = 0 ms 

パッシブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115bP_FI_100] + [SB18_100]	115bP = 1.8 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bP_FR_100] + [SB18_100]	115bP = 1.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bP_MO_100] + [SB18_100]	115bP = 2.5 ms 	SB18 = 0 ms 

112XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[112XT_FI_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[112XT_FR_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[112XT_MO_100] + [SB118_100]	112XT = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 

112XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[112XT_FI_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112XT_FR_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112XT_MO_100] + [SB18_100]	112XT = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 

MTD112b + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[112b_FI_100] + [SB118_100]	112b = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[112b_FR_100] + [SB118_100]	112b = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[112b_MO_100] + [SB118_100]	112b = 3.0 ms 	SB118 = 0 ms 

MTD112b + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[112b_FI_100] + [SB18_100]	112b = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[112b_FR_100] + [SB18_100]	112b = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112b_MO_100] + [SB18_100]	112b = 2.7 ms 	SB18 = 0 ms 

MTD108a + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[108a_FI_100] + [SB118_100]	108a = 3.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[108a_FR_100] + [SB118_100]	108a = 3.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[108a_MO_100] + [SB118_100]	108a = 4.0 ms 	SB118 = 0 ms 

MTD108a + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[108a_FI_100] + [SB18_100]	108a = 3.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[108a_FR_100] + [SB18_100]	108a = 3.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[108a_MO_100] + [SB18_100]	108a = 3.7 ms 	SB18 = 0 ms 

負荷インピーダンス

以下のモデルを除くエンクロージャーの公称インピーダンスは 8 Ωです。

- 16 Ω :
 - K2 (HF セクション)、KIVA II、V-DOSC (HF セクション)、5XT、X4i
- 4 Ω :
 - SB28、KS28、Syva Low、K1-SB

総インピーダンス

定格	エンクロージャー数 / 並列接続セクション				
	2	3	4	5	6
16 Ω	8 Ω	5.3 Ω	4 Ω	3.2 Ω	2.7 Ω
8 Ω	4 Ω	2.7 Ω	---	---	---



4 オームのエンクロージャーはパラレル接続できません。*

各アンプリファイドコントローラーにおける総数や、エンクロージャー数 / 並列接続セクションは、[アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力](#) (p.115) を参照してください。

* Syva Low と SB6i を除く。

アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力



出力のミュート、全体的なアッテネーション、オーディオ品質ロスのリスク

出力チャンネルごとに接続可能なエンクロージャー数、およびアンプリファイドコントローラーに対する総数の最大を超えてはいけません。規定を上回る状態で使用するとアンプリファイドコントローラーの保護が作動する可能性があります。

	LA2Xi			LA4X	LA7.16(i)	LA12X
	出力ごと* / 合計			出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計 ^b	出力ごと* / 合計
	SE ^a	BTL	PBTL			
同軸エンクロージャー						
X4i	4 / 16	---		4 / 16	4 / 64	6 / 24
5XT	4 / 16	---		4 / 16	3 / 48	6 / 24
X6i	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
X8	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
X8i	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
X12	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 14	3 / 12
X15 HiQ	1 / 2	---		1 / 2	1 / 8	3 / 6
8XT	---			2 / 8	---	3 / 12
アクティブ 12XT	---			2 / 4	---	3 / 6
パッシブ 12XT	---			1 / 4	---	3 / 12
112XT	---			2 / 4	---	3 / 6
115XT HiQ	---			1 / 2	---	3 / 6
115XT	---			1 / 2	---	3 / 6
MTD108s	---			2 / 8	---	3 / 12
MTD112b	---			1 / 4	---	2 / 8
アクティブ MTD115b	---			1 / 2	---	2 / 4
パッシブ MTD115b	---			1 / 4	---	2 / 8
コリニアソース						
Syva	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 10	3 / 12
定曲率 WST エンクロージャー						
A10(i) Wide/Focus	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
A15(i) Wide/Focus	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 10	3 / 12
ARCS Wide/Focus	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	---	3 / 12
ARCS II	---			1 / 2	---	3 / 6
ARCS	---			1 / 2	---	3 / 6
可変曲率 WST エンクロージャー						
K1	---			--	---	2 / 2
K1-SB	---			---	---	1 / 4
K2	---			1 / 1	1 / 4	3 / 3

	LA2Xi			LA4X	LA7.16i	LA12X
	出力ごと* / 合計			出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計 ^b	出力ごと* / 合計
	SE ^a	BTL	PBTL			
K3(i)	---			1 / 2	1 / 8	3 / 6
Kara(i)	2 / 4	2 / 4		---	3 / 6	
Kara II(i)	2 / 4	2 / 4		1 / 8	3 / 6	
Kiva II	2 / 8	2 / 4	---	2 / 8	2 / 32	6 / 24
Kiva / Kilo	---			2 / 8	---	3 / 12
Kudo	---			1 / 1	---	3 / 3
V-DOSC	---			---	---	2 / 2
dV-DOSC	---			---	---	3 / 6
プログレッシブ曲率 WST エンクロージャー						
L2 / L2D	---			---	1 / 1	---
サブウーハーエンクロージャー						
KS28	1 / 4	---	1 / 1	---	---	1 / 4
SB28	1 / 4	---	1 / 1	---	---	1 / 4
KS21(i)	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 8	2 / 8
SB18(i)	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 6	3 / 12
SB218	---			---	---	1 / 4
SB118	---			1 / 4	---	2 / 8
SB15m	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 9	3 / 12
Syva Low	1 / 4	---		1 / 4	1 / 16	2 / 6 ^c
Syva Sub	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 32	3 / 12
SB10i	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	2 / 32	3 / 12
SB6i	1 / 4	---		1 / 4	1 / 16	2 / 8
dV-SUB	---			---	---	1 / 4

* パッシブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続エンクロージャー数に対応し、アクティブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続セクション数に対応します。

a X4i と 5XT を除くシステムは、SE オペレーティングモードでは最大 SPL が減少します。詳細は LA2Xi オーナーズマニュアルを確認してください。

b 全チャンネルをフルパワーでドライブすると仮定した場合の公称の数値です。パワーバジェットの数値にかかわらず最大数を超えないようにしてください。100V 電源でドライブする場合は、パワーゲージが 75%を超えないようにエンクロージャー数を減らしてください。

c LA12X は 1 出力あたり最大 2 コの Syva Low をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

LA4 / LA8 のエンクロージャードライブ能力



出力のミュート、全体的なアッテネーション、オーディオ品質のロスのリスク

出力チャンネルごとに接続可能なエンクロージャー数、およびアンプリファイドコントローラーに対する総数の最大を超えてはいけません。規定を上回る状態で使用するとアンプリファイドコントローラーの保護が作動する可能性があります。

	LA4	LA8
	出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計
同軸エンクロージャー		
X4i	4 / 16	6 / 24
5XT	3 / 12	6 / 24
X8	---	3 / 8 ^a
X12	---	2 / 8
X15 HiQ	---	2 / 4
8XT	2 / 8	3 / 12
アクティブ 12XT	2 / 4	3 / 6
パッシブ 12XT	1 / 4	2 / 8
112XT	2 / 4	3 / 6
115XT HiQ	1 / 2	2 / 4
115XT	2 / 8	3 / 6
MTD108s	2 / 8	3 / 12
MTD112b	1 / 4	2 / 8
アクティブ MTD115b	1 / 2	2 / 4
パッシブ MTD115b	1 / 4	2 / 8
コリニアソース		
Syva	---	2 / 8
定曲率 WST エンクロージャー		
ARCS Wide/Focus	1 / 4	2 / 8
A10(i) Wide/Focus	---	2 / 8
A15(i) Wide/Focus	---	2 / 8
ARCS II	---	2 / 4
ARCS	1 / 2	3 / 6
可変曲率 WST エンクロージャー		
K1	---	2 / 2
K1-SB	---	1 / 4
K2	---	3 / 3
K3(i)	---	2 / 4
Kara(i)	---	3 / 6
Kara II(i)	---	3 / 6

^a LA8 は 1 出力あたり最大 3 コの X8 をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 8 コまでとします。

	LA4	LA8
	出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計
Kiva II	---	4 / 16
Kiva / Kilo	2 / 8	3 / 12
Kudo	---	3 / 3
V-DOSC	---	2 / 2
dV-DOSC	---	3 / 6
サブウーハーエンクロージャー		
KS28	---	---
SB28	---	1 / 4
KS21(i)	---	2 / 6 ^b
SB18(i)	1 / 4	2 / 6 ^c
SB218	---	1 / 4
SB118	1 / 4	2 / 8
SB15m	1 / 4	2 / 6 ^d
SB10i	---	3 / 12
Syva Low	---	1 / 4
Syva Sub	1 / 4	2 / 8
dV-SUB	---	1 / 4

b LA8 は 1 出力あたり最大 2 コの KS21 および KS21i をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

c LA8 は 1 出力あたり最大 2 コの SB18、SB18i、SB18m、SB18IIi をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

d LA8 は 1 出力あたり最大 2 コの SB15m をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

* パッシブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続エンクロージャー数に対応し、アクティブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続セクション数に対応します。



L-Acoustics

13 rue Levacher Cintrat - 91460 Marcoussis - France

+33 1 69 63 69 63 - info@l-acoustics.com

www.l-acoustics.com

 **L-ACOUSTICS**
GROUP